博報教育フォーラム

ちがっていること。ともに生きること。

日本の教育で「生きる力」を育むための具体策と実践
～ESDを踏まえて～

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

平成26年2月22日
江東区立八名川小学校
手 島 利 夫

ESDとは？

Education for ～のための教育

Sustainable 持続可能な

Development 発展・開発

「持続可能な開発のための教育」・・・ユネスコの課題です

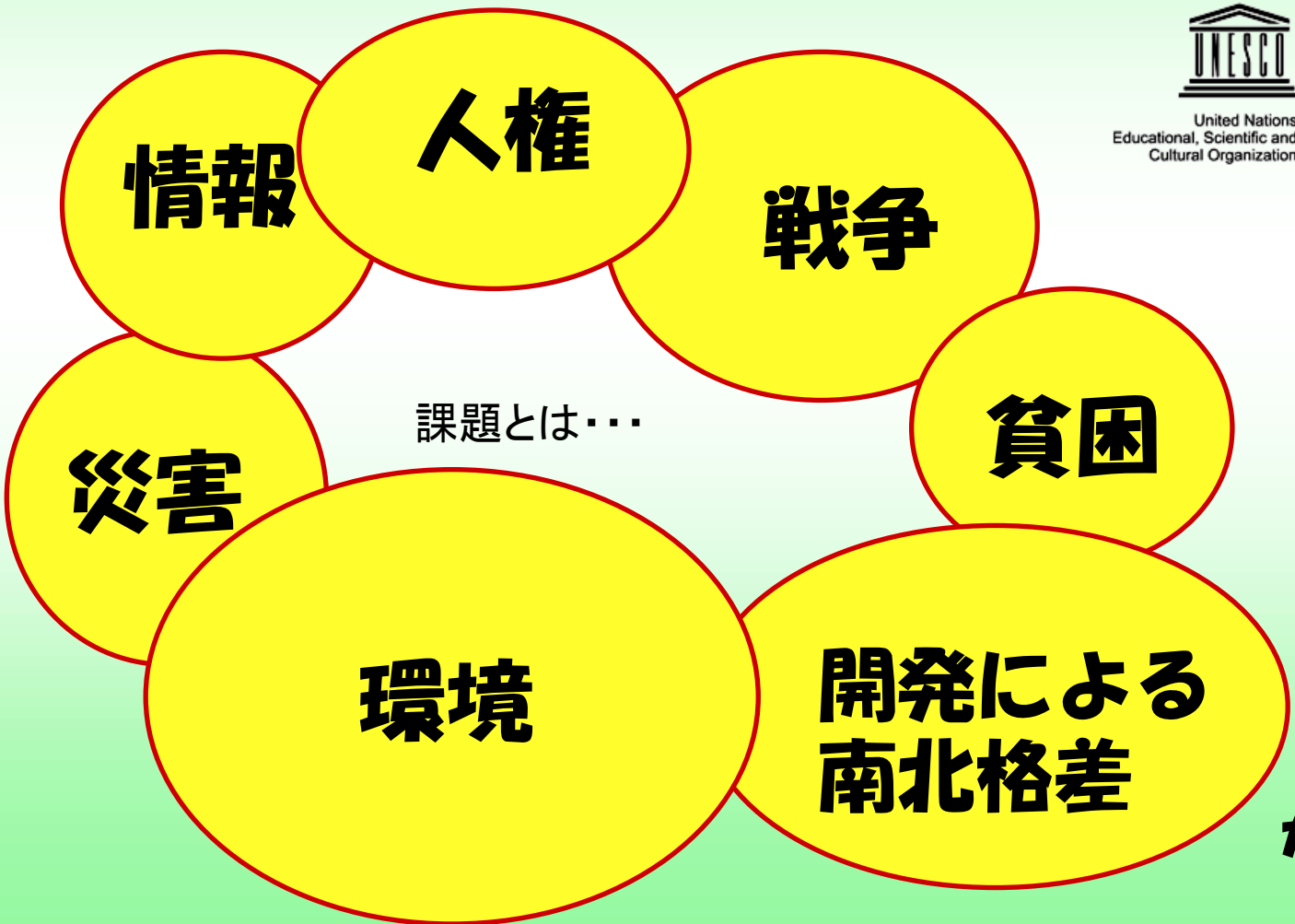
未来をつくる教育

と、私は考えています

ユネスコは

国際平和と人類の福祉の促進を脅かす

「地球規模の課題」解決に取り組んでいます！



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

などです。

そして、そのために

ESDの視点を取り入れた教育を推進する拠点

ユネスコスクールをつくっています。

↓

世界180カ国　9000校　　国内647校　（25年11月現在）

教育ネットワークへの参加

ＥＳＤの推進はユネスコ（国際連合教育・科学・文化機関）の重要な施策です。

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

多くの学校がユネスコスクールに
参画するのは、それが

教育の本質に向かった
価値ある取り組みだからです。

私たちが、ＥＳＤに取り組む意味
から確かめましょう。

そもそも、子ども達は
「何のために学ぶのでしょうか？」

テストで100点をとるため！？
計算が早くできるようにするため！？

良い学校に進学するため！？
一流企業に就職するため！？

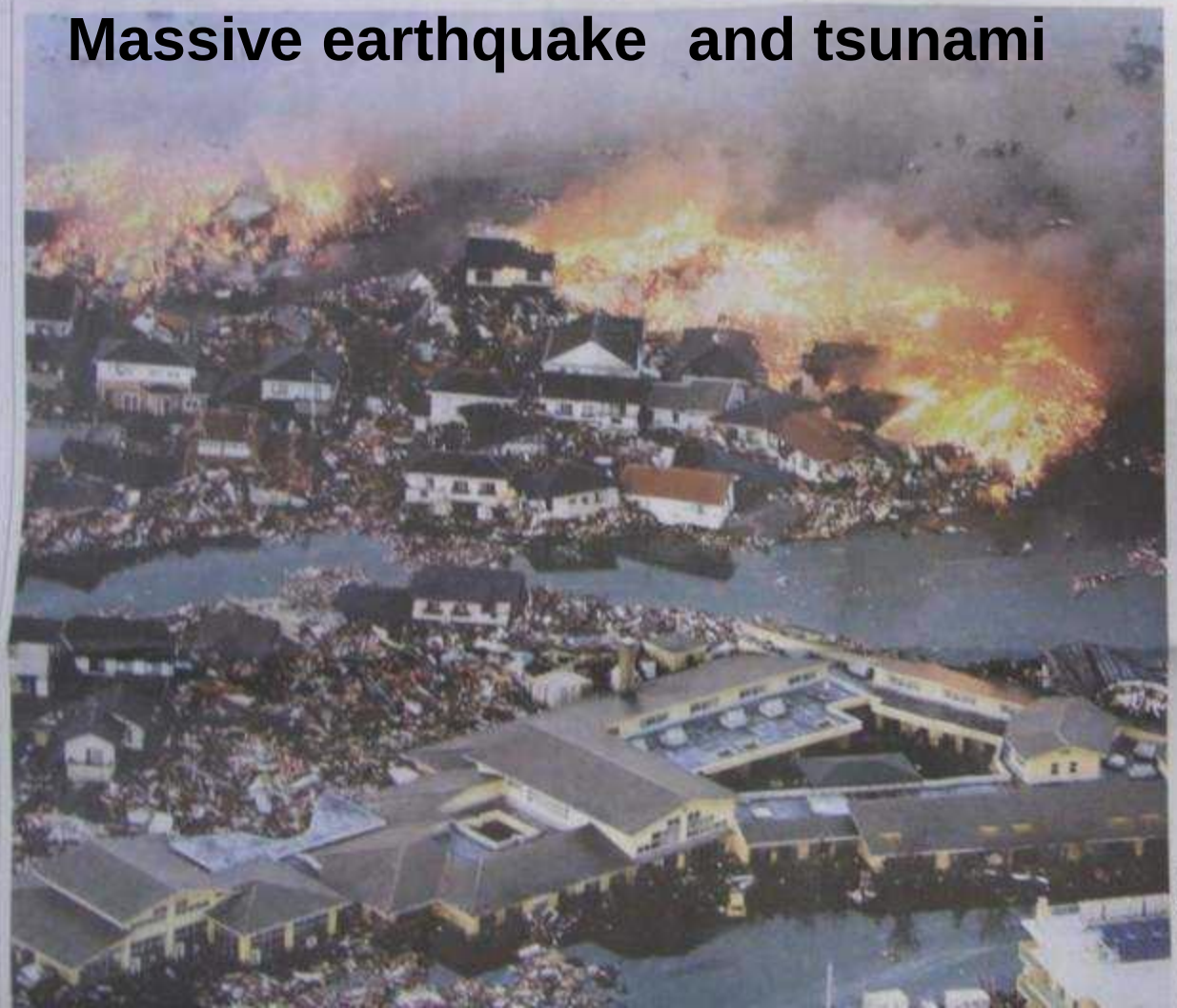
それらも大事ですが、それだけでいいのですか。

先ずは　**彼らの生きていく時代**
子どもたちの抱える問題

を踏まえて考えましょう

東日本巨大地震

Massive earthquake and tsunami



M8.8国内最大

大津波、死者数

三陸海岸 壊

Nuclear power plant explosion

福島原発で爆発

第一・1号 炉心溶融の恐

20キロ圏避難 海水注入、廃

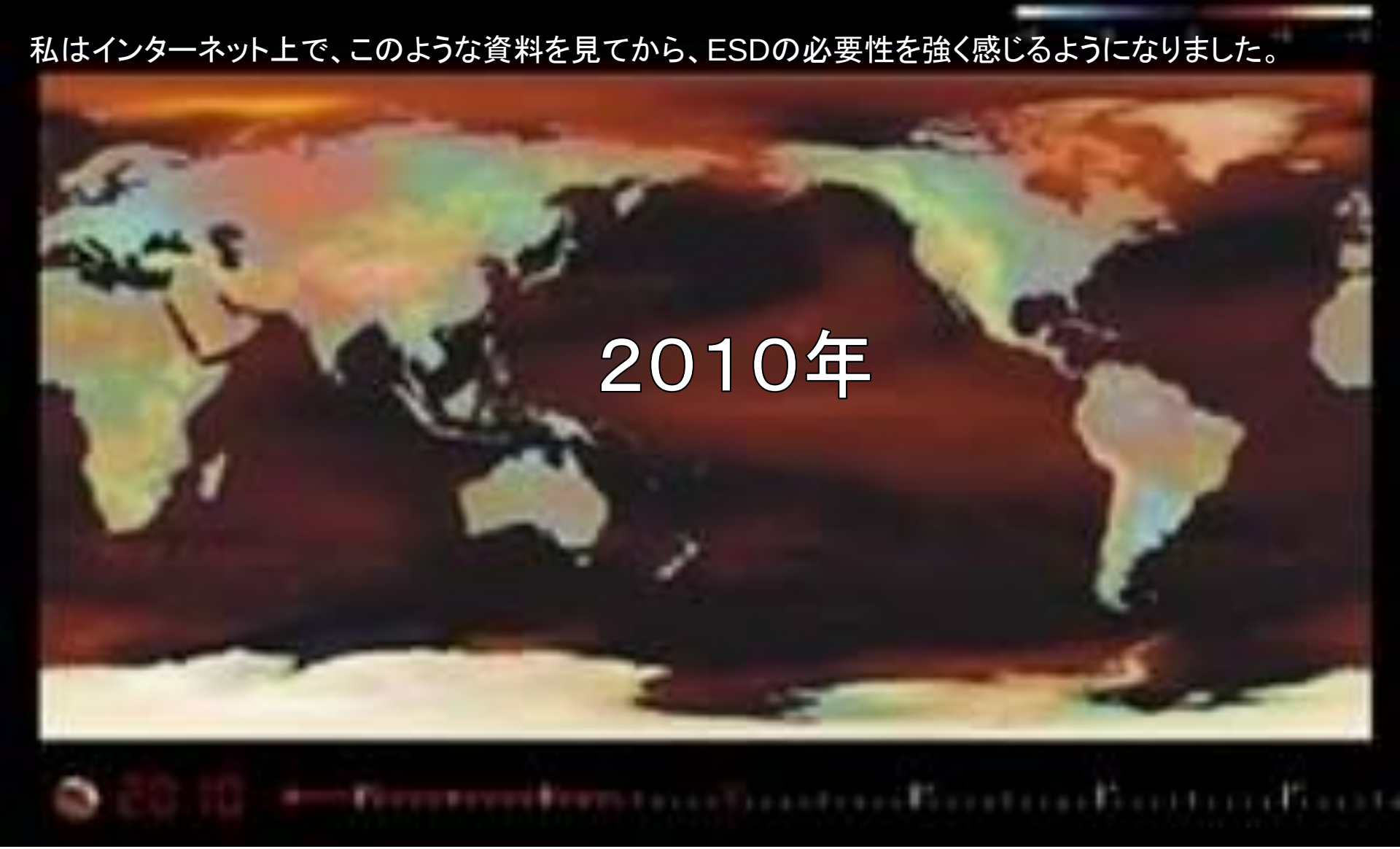
放射能漏れ 90人以上被曝か

東日本巨大地震で被災した東京電力福島第一原子力発電所（福島県大熊町、双葉町）1号機の原子炉建屋で12日午後、水素爆発が発生し、作業員4人が負傷、放射性物質も飛散して敷地外にいた住民ら3人が被曝した。1号機は原子炉内が過熱しており、経済産業省原子力安全・保安院は、炉心が溶融した可能性を指摘。東電は、運転再開が困難となる海水の注入に踏み切った。その作業に備え、福島県は同日夜、避難指示の範囲を半径20キロ・圏へ拡大した。一方、宮城県南三陸町では、住民約1万人が不明になっていることがわかった。捜索が進むにつれ、多数の集落の壊滅が判明し、被害は未曽有の規模に拡大している。

白煙を上げる東京電力福島第一原発（12日、日本テレビから）

首都圏、時

私はインターネット上で、このような資料を見てから、ESDの必要性を強く感じるようになりました。



◎「地球シミュレータ」の温暖化予測によると、2010年には地球の気温は1900年と比べて1.4度高くなる。地球の平均気温が1度上昇すると、世界各地の珊瑚礁がこの白化現象を起こし、珊瑚は死滅してしまう。

「地球温暖化による環境の変化

氷河なくなる

海の水が増えてなくなってしまう島

強いハリケーン

氷がとける

サンゴがなくなる

砂漠化

植物の変化

病気が増える

水不足になる

2013年9月2日
埼玉県南部で竜巻発生

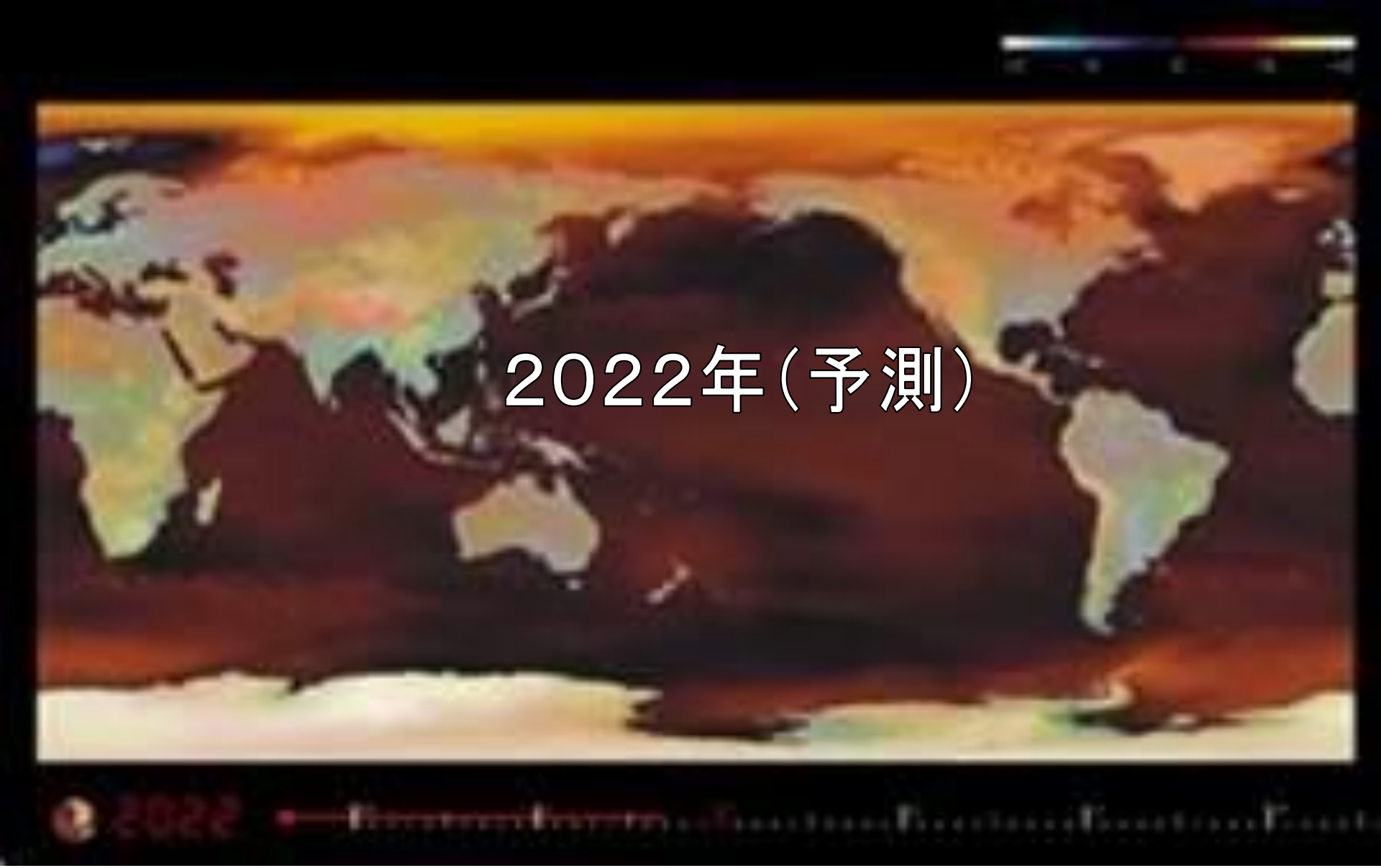
@mikotchanさん
pic.twitter.com/4SFRj73g2f

しも さん
pic.twitter.com/aI7HDA6h6a

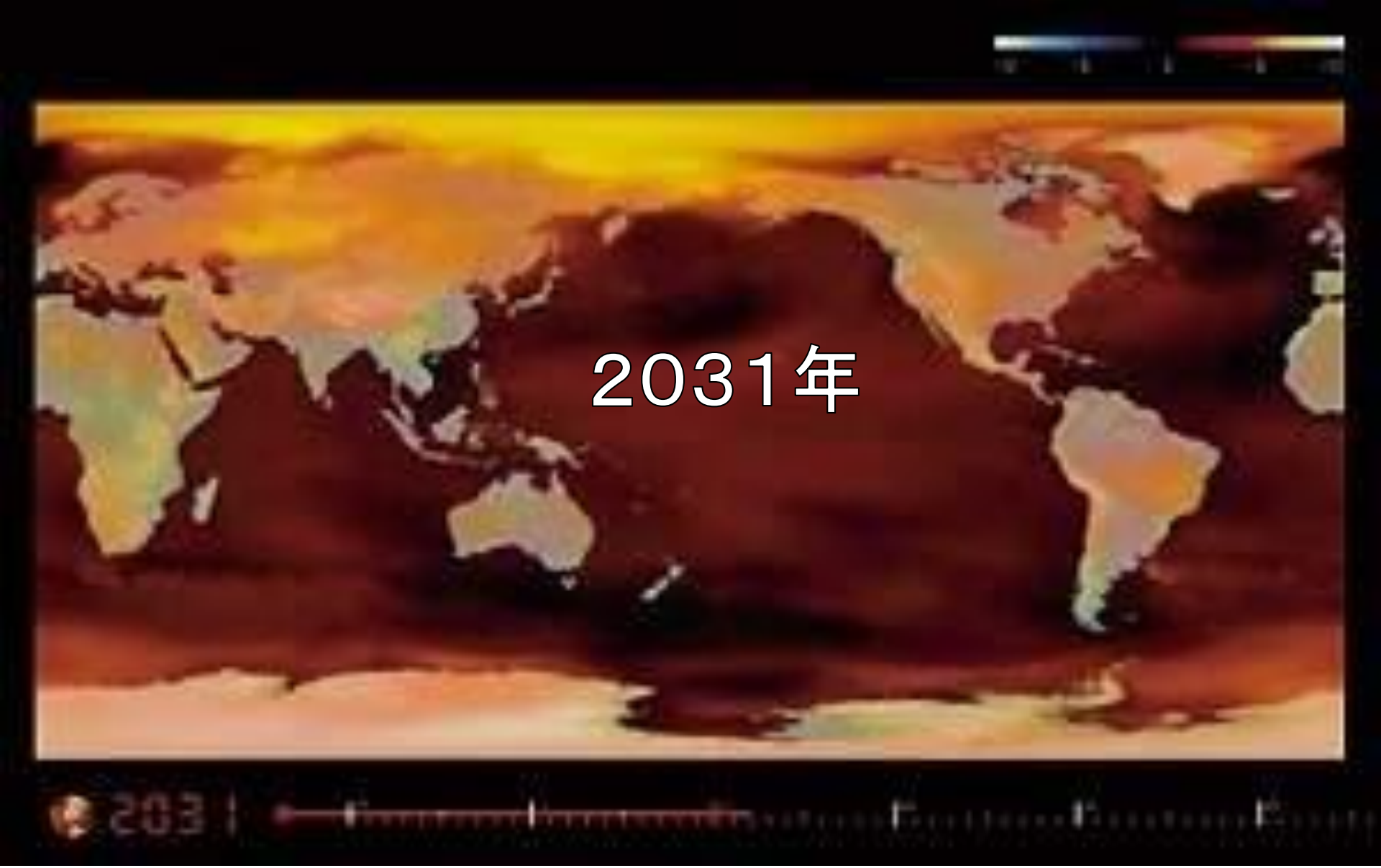
地下鉄入り口に迫る水
9/4、17:10名古屋市全域に避難準備情報

のぐちかずま@ngckzm さん

アンテナ時さん



◎**地球の平均気温が1.5度上昇すると**グリーンランドの氷床融解が始まり、3度上昇すると全面的な融解に至ると予測されている。 融けた氷がすべて海に流れ込むと、地球の海面は7メートルも上昇する。

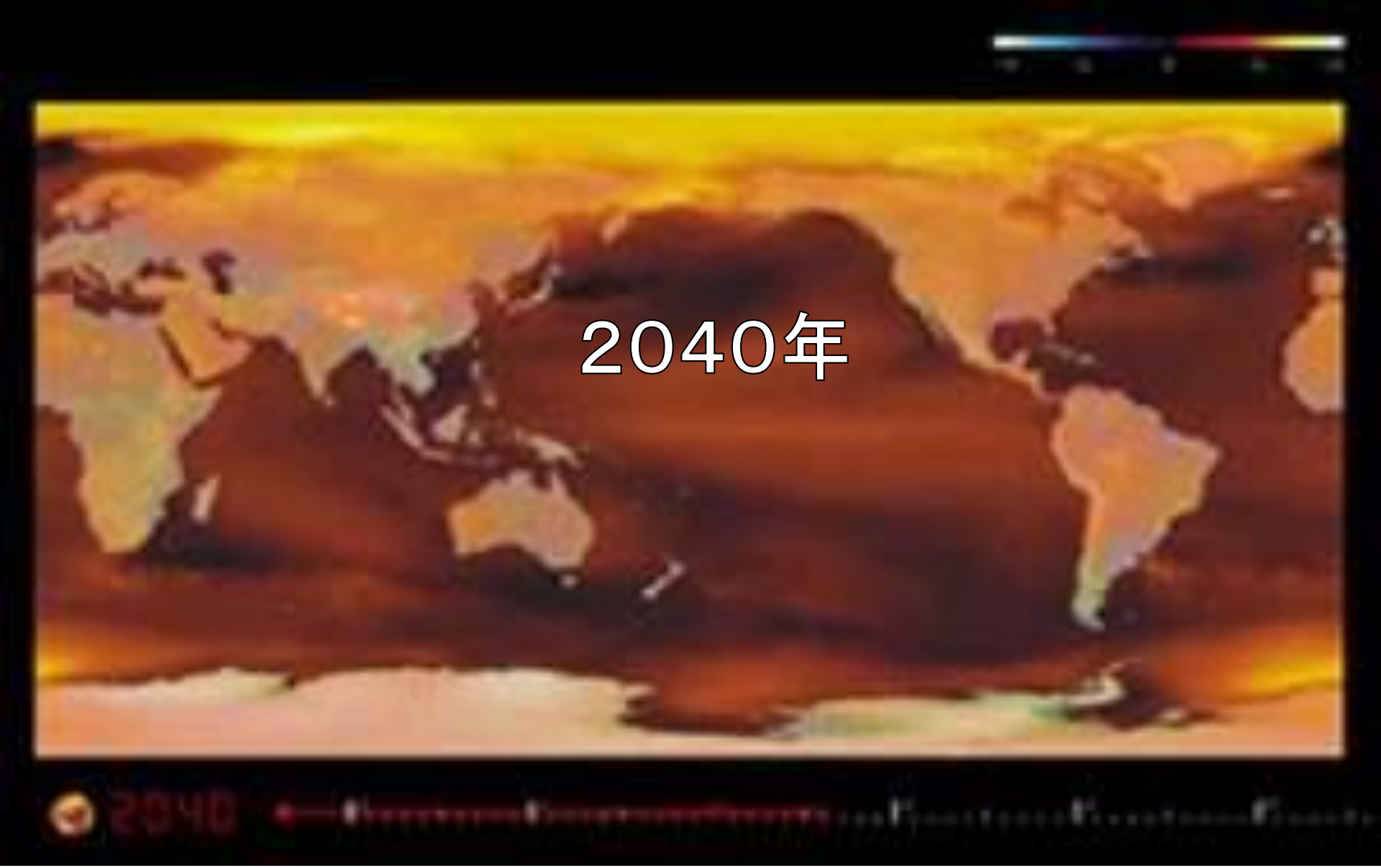


◎**気温が2度上昇すると**、海面の上昇によって、標高の低い沿岸地域で洪水や高潮の被害を受ける地域が拡大する。南アジアや東南アジアを中心に、世界で２千６百万人が被害を受けると予測されている。

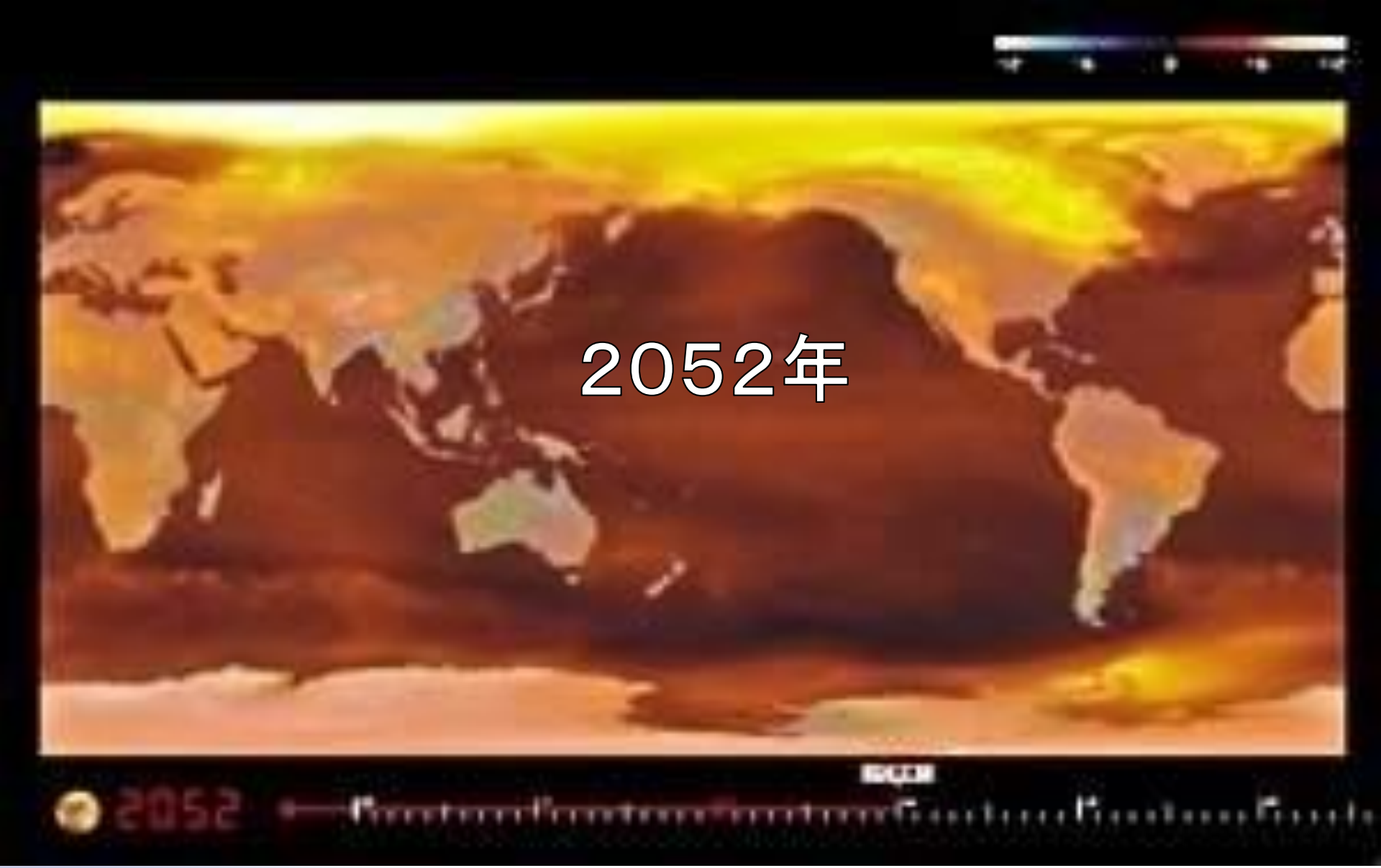
2031年・・・今から 18年後です.
私が生きていれば,78歳です.

私の娘は,この時
38歳になっています.

あなたは何歳ですか。
お子さんは何歳ですか。
そして、あなたの教え子は・・・
どんな生活を送っているのでしょう？



2040年代、地球の気温が3度上昇すると…海洋大循環が停止する 。2000年もの長い時間をかけて地球を一周する海流がある。気温が上昇することによって海水の温度が上昇し、またグリーンランドの氷が融け、海水の塩分濃度が薄くなると、本来深海に沈みこむはずの海水が沈まなくなり、この海洋大循環が停止してしまう可能性がある。停止すると気候が不安定になり、地域によっては急速に寒冷化する可能性もあるという。



2050年代、気温が3度上昇すると、生態系に大きく影響。急激な気候変動によって気候帯の移動スピードが速くなると、多くの植物が追いつくことができず、行き場を失ってしまう。その結果、植物に依存して生きている動物や昆虫など他の生物も大きな影響を受ける。変化に適応できない場合は絶滅する可能性もある。適応が可能な昇温速度は10年間で0.05℃が限界といわれている。

世界には様々な問題が次々と・・・！

自然災害・想定外の事故・地球温暖化・
砂漠化・集中豪雨・食料不足
民族紛争・内戦・エイズ・感染症・・

子どもたちは、このような
厳しい地球環境、
激変する不安定な世界
で生きていかなくてはならない
のです。

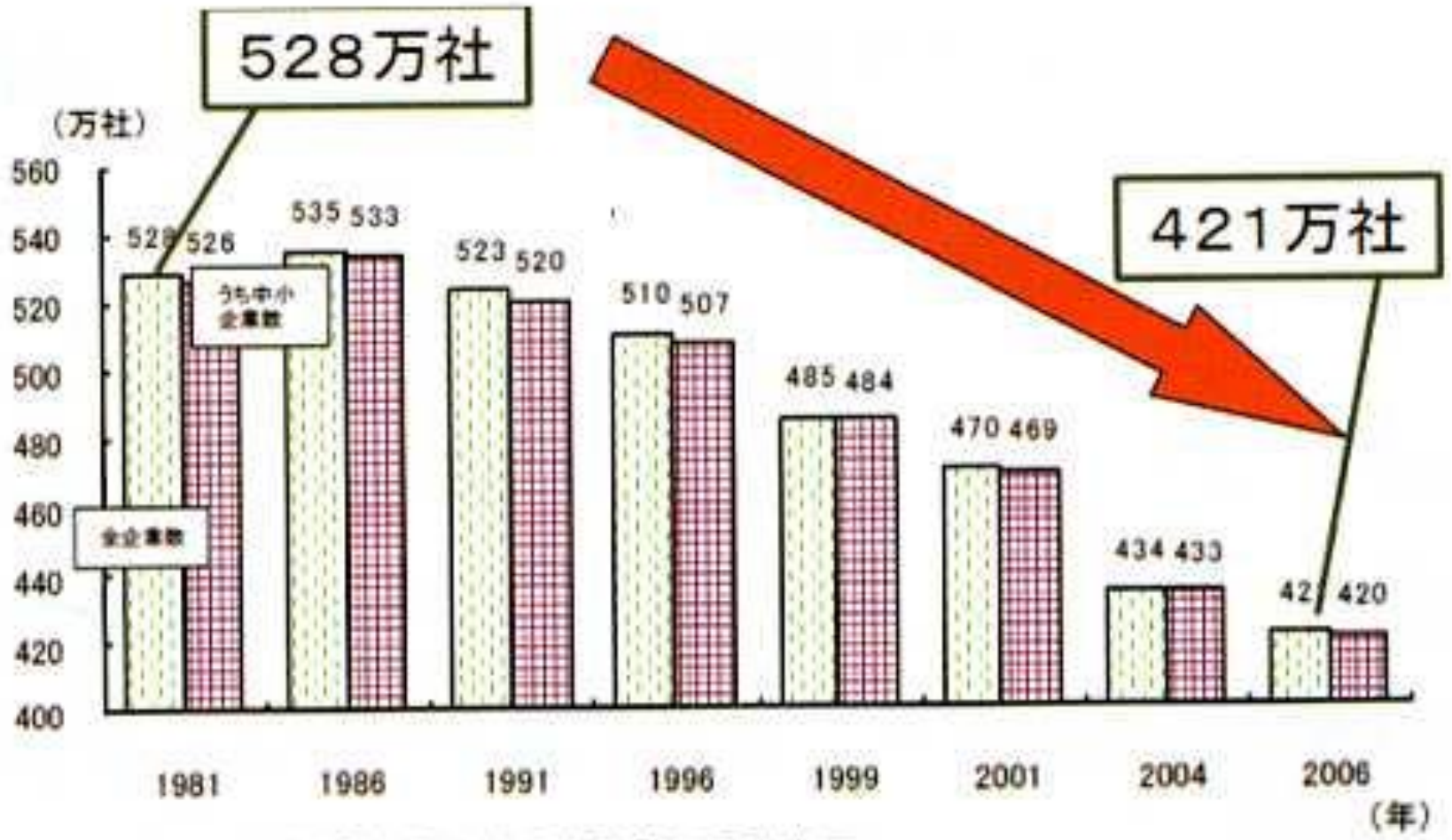
では、日本の子どもたちの抱える問題は？

- 自らに自信をもてない
- 人間関係をうまく築けない
- 目立つことを極端に恐れる（挙手・発言すらしない）
- 厳しいことから逃避しがち（ネットゲームに逃げ込んで・・）

このような子どもたちで、厳しい時代を生き抜いていけるのでしょうか。

彼らに、どんな将来が待っているのか？

企業数の推移



出所：総務省「事業所・企業統計調査」再編加工

彼らに、とんな将来が待っているのか？

- IT化・ロボット化が進み、仕事が奪われる
- 国際化で日本人の仕事が奪われる

2020年までに無くなる仕事（週刊現代7．29より）

電車の運転士　レジ係　通訳　プログラマー

新聞配達員　郵便配達員　レンタルビデオ店員

ガソリンスタンド　高速道路料金徴収員　仲卸業者

小規模農家　兼業農家　大手電力会社　参議院議員

日本人の取締役　教員　交番警察官　生保レディ・・・・

彼らに、どんな将来が待っているのか？

1．厳しい就職戦線

2．グローバルな労働市場
- 外国語で意志疎通する力
- 相手の文化や人柄を理解する力
- 協力して、新しいものを創っていく力

→**高い能力**が求められている

コストや能力で比較される！

3．多文化共生社会
- 国内にいても、押し寄せてくる

4．厳しい地球環境、激変する不安定な世界

厳しい時代を生きる子どもたちに

求められる能力とは？

（厳しい時代を）**生きる力**

- 問題解決能力
- （創造的な）コミュニケーション能力
- 健康や体力

困難な世界の問題に立ち向かい、様々な人々と力を合わせて解決し、より良い未来を創ろうと行動するたくましい子ども

それって、持続可能な社会づくりをめざした取り組み！

ＥＳＤでめざす子ども像ですね。

こう考えると、
生きる力の教育は
日本の全ての学校で、
どうしても取り組まなくては
ならない緊急の重要課題！
しかし、どのように進めたら
生きる力が育つのか、
明確でない！意識も薄い！
だからこそ、
ＥＳＤの理念や手法が重要！

では、ＥＳＤに取り組むことで、
とんな価値が生まれるのでしょう。

- 学校にとって
- 教師にとって
- 子どもにとって
- 保護者や地域にとって

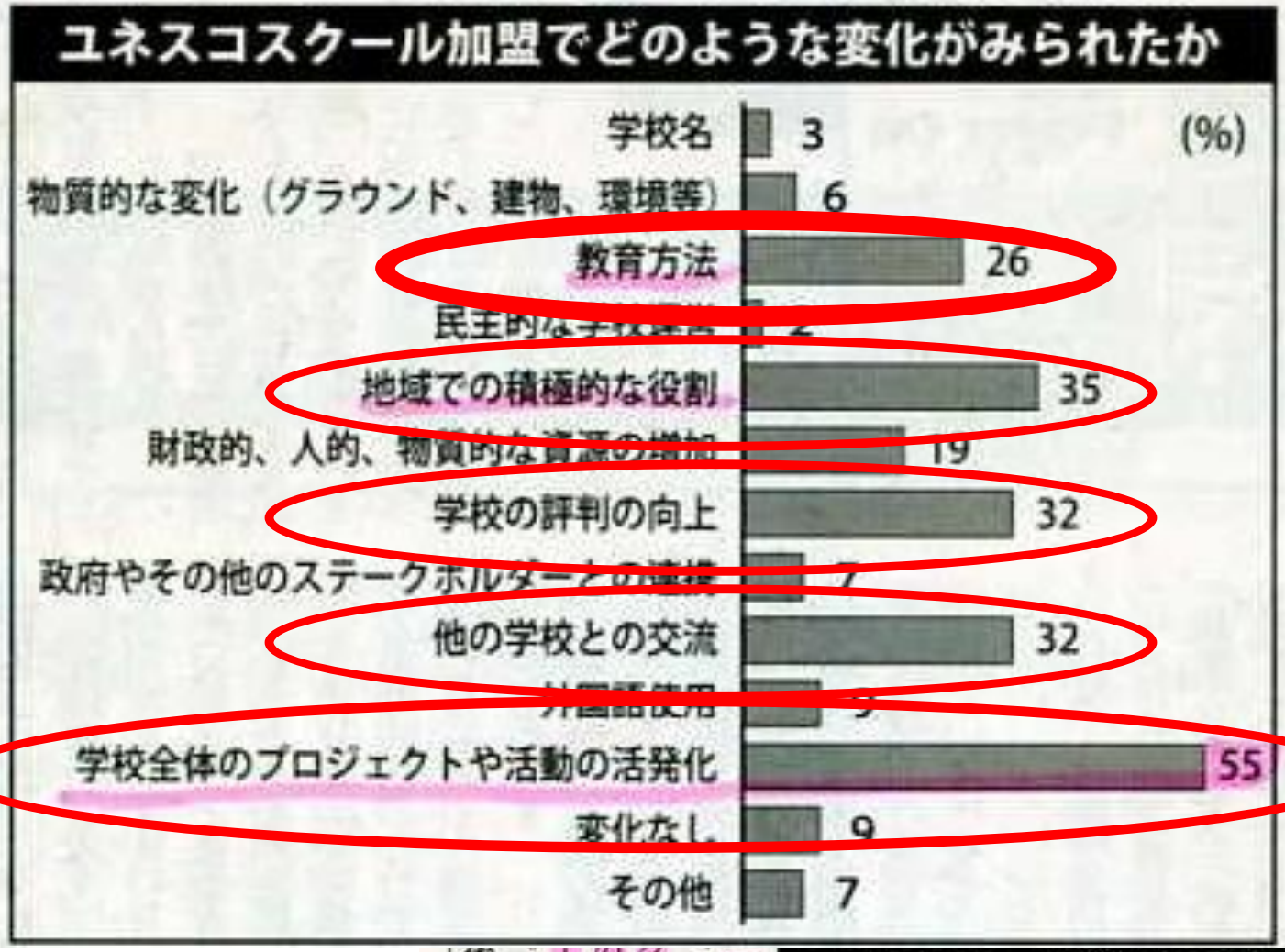
教育新聞 3198号の記事

学校の活動が活発化

ユネスコスクール加盟の成果は

ユネスコ国内委がアンケート調査

ユネスコスクール加盟でどのような変化がみられたか



ユネスコスクール加盟の成果は

ユネスコ国内委がアンケート調査

ユネスコスて、学校の活―。日本ユ会はこのほどールを対象にート調査の結ユネスコスク育実践の課題活動の改善をだ。

調査は2～スクール加盟象に実施、4得た。

結果をみる校教育全体で求められてい的な学習の時方法の工夫改

な変化がみられたか

ユネスコスクールに参加することで
（ＥＳＤに取り組むことで）

- 学校教育方針が明確化（８５％）

  教育課程の改善・総合を中心に生きる力を！
- 活動の活発化（５５％）
- 開かれた学校に（３５％）

  他校と交流・地域で積極的に・評判の向上
- 教育方法の改善（２６％）

ＥＳＤへの取り組みを開始することで

- 学校教育方針が明確化（８５％）

というけれど・・・

※　**生きる力は、どの教科・領域で育てるの？**
そもそも、学校には「生きる力の時間」
なんて、ありません！
学校教育全体で育てるのです。

だから、生きる力の教育を中心にした
学校の**教育課程そのものが重要**であり、
全ての教科領域を**横断的・総合的に**つない
だ教育の姿が必要なのです。

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

『学校として
ＥＳＤを進めていくことの良さ』

＜教師＞ 教育観・指導観が変わり、教師としての資質向上

1、各教科とのつながりを意識した指導

2、地域に根ざし体験を通した学びの定着

3、指導資料の蓄積と更新

4、問題解決的な学習の充実

環境の教育

国際的な協力

環境の問題は自分たちだけが取り組んでもだめです。国際的な協力が必要です。

国際的な協力のためには、お互いの国の文化や生き方を尊重できなくては、協力なんてできません。

持続可能な世界のための４つの視点

教科領域の学びをつなぐ視点

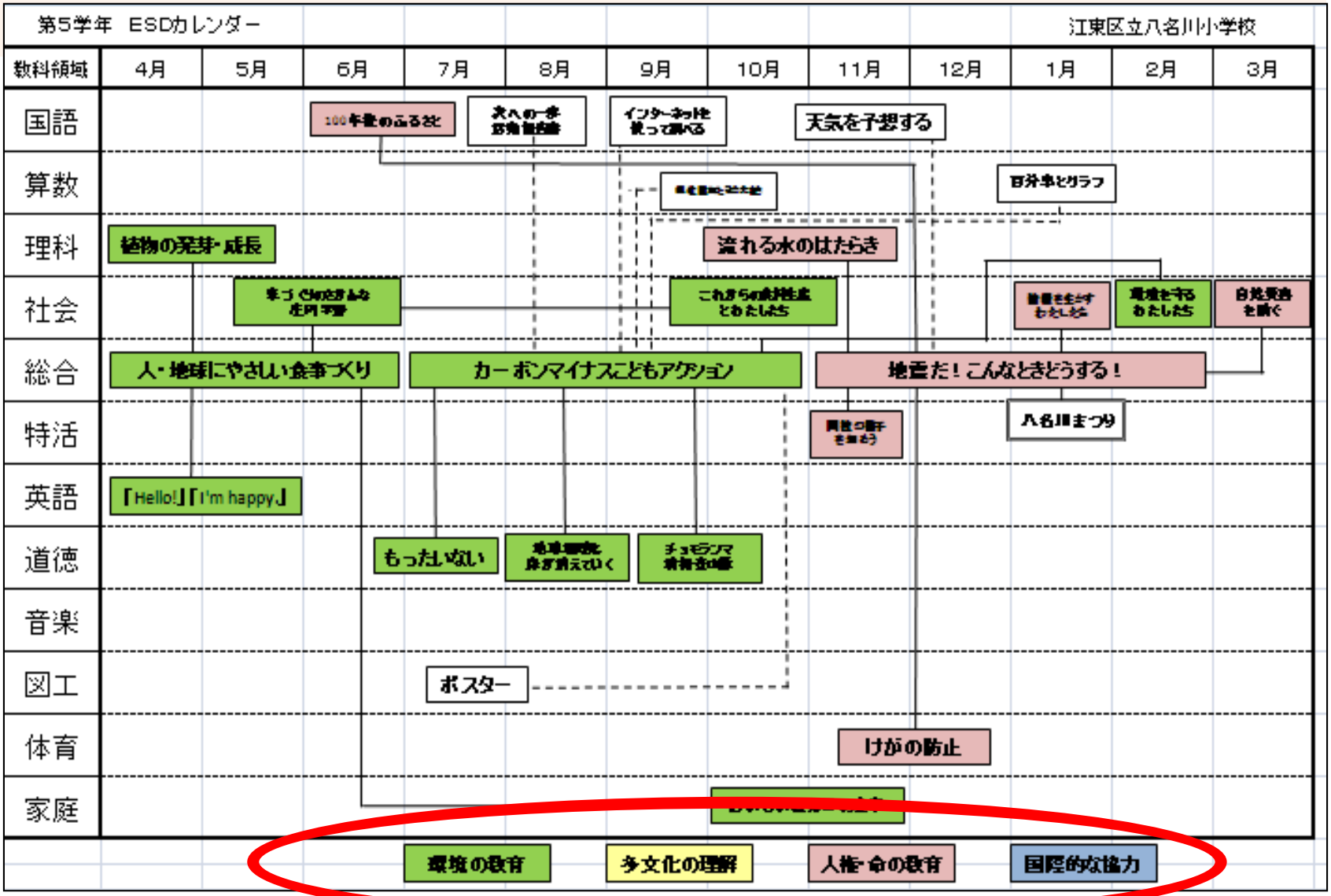
人が人として生きていくには環境が重要です。
この４つの視点は、相互に関連し合っているのです。

いろいろな国の文化や生き方を知る土台には、人間として尊重し合う信頼関係が大切です。

人権・命の教育

多文化の理解

1　各教科のつながりを意識した指導

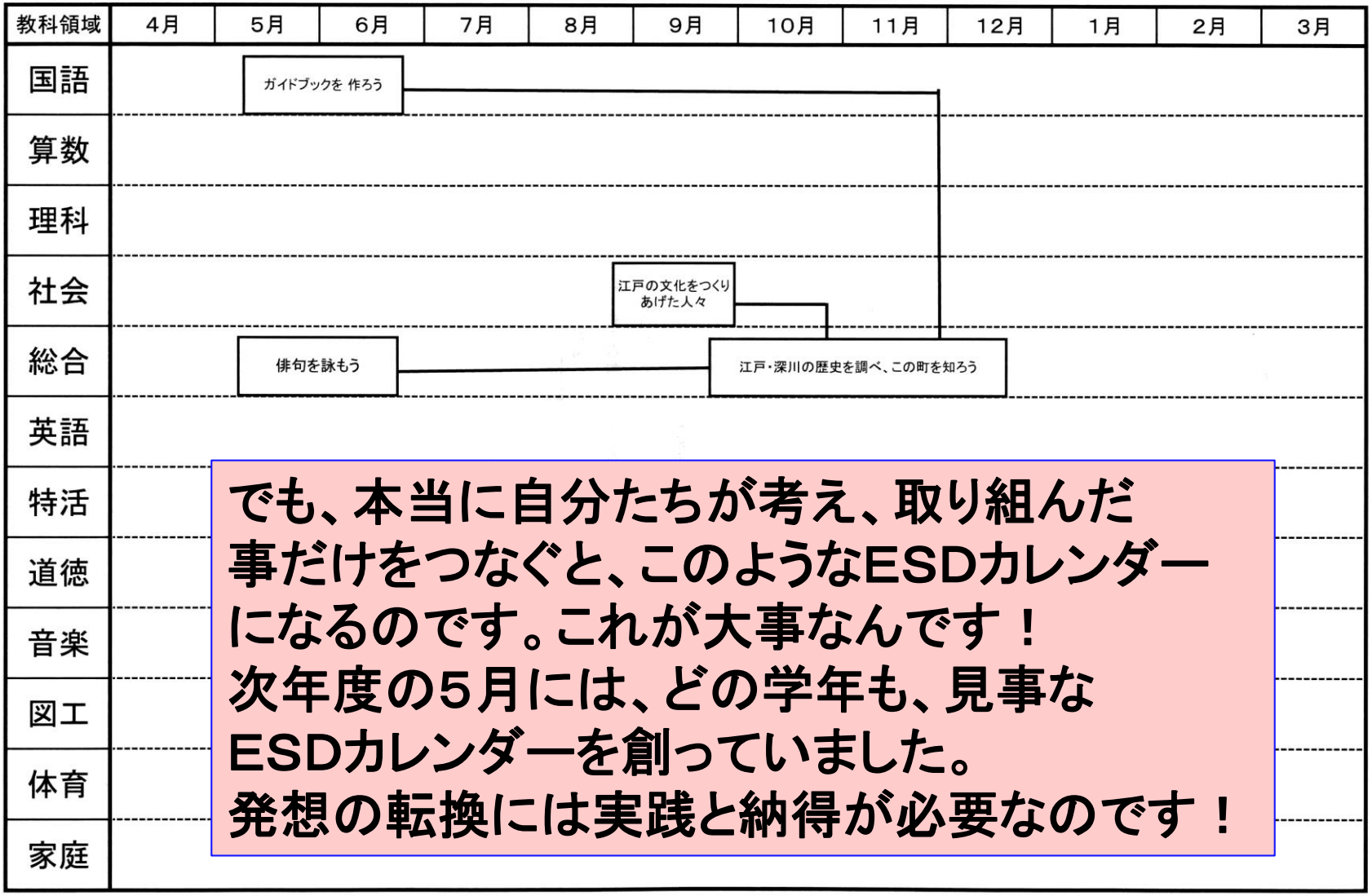


総合的な学習の時間　年間指導計画　（5年）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間	**地球のために今できること　30（環境）**						**ぼくらの町の江戸切子　40（伝統）**					
	地球に何が起きている？（11） ・カーボンマイナスの取り組み ・地球が抱える問題をインターネットや図書資料を使って調べる。		身近な環境を見直そう！（6） ・自分にできることを調べる。 ・自分にできることを実践し、振り返る。		周りの人に、取り組みを広げよう（13） ・活動を広げるにはどうしたらよいか考える。 ・カーボンマイナスを水神小の他学年にやってもらう。 ・活動全体を振り返り、自分を見つめる。		江戸切子に出合おう ・梅屋敷見学 ・江戸切子体験		江戸切子のひみつをもっと探ろう ・工房の見学や職人さんへのインタビュー ・図書資料やインターネットで、情報を集める。		知らせよう 広めよう ぼくらの町の江戸切子 ・活動を広げるための計画を立てる。 ・地域やお世話になった方に伝える。	
国語	人物の関わり合いを読み、感想を書こう	新聞の編集の仕方や記事の書き方に目をむけよう	筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表しよう	「きく こと」について考えよう	伝記を読んで、自分の生き方について考えよう	活動を報告する文章を書こう	自分の考えをまとめて討論しよう（意見文）	作品を自分なりにとらえ、朗読しよう	説明のしかたについて考えよう	本は友達 わたしたちの「図書館改造」提案（提案文）	自分の考えを明確にしながら読もう 書き言葉と話し言	理由を明確にして、すいせんしたり、それを聞いたりしよう	物語を読んで、自分の考えをまとめよう	構成や表現を工夫して書こう
社会	わたしたちの国土 ・世界の中の国土 ・国土の地形の特色と人々のくらし ・国土の気候の特色と人々のくらし			わたしたちの生活と食料生産 ・米作りのさかんな庄内平野 ・水産業のさかんな静岡県 ・これからの食料生産とわたしたち			わたしたちの生活と工業生産 ・自動車をつくる工業 ・工業生産と工業地域 ・工業生産と貿易		情報化した社会とわたしたちの生活 ・情報産業とわたしたちのくらし ・社会を変える情報 ・情報を生かすわたしたち		わたしたちの生活と環境 ・わたしたちの生活と森林 ・環境を守るわたしたち ・自然災害を防ぐ	
算数	整数と小数	直方体と立方体の体積	小数のかけ算	小数のわり算	合同な図形	偶数と奇数、倍数と約数	単位量あたりの大きさ	分数と小数	図形の角	分数のたし算とひき算	四角形と三角形の面積	百分率とグラフ	正多角形と円周の長さ	分数のかけ算とわり算	角柱と円柱
理科	天気と情報 1 天気の変化	植物の発芽 植物の成長	メダカのたんじょう	人のたんじょう		植物の花のつくりと実や種子	天気の情報 2	流れる水のはたらき	電磁石の性質	ものの とけ方	ふりこの動き				
音楽	心から心へ こいのぼり	茶色の小びん こきょうの人々	（鑑賞）組曲「カレリア」から「行進曲」風に	歌をとどけよう 花のおくりもの （鑑賞）いろいろな合唱		ハローシャイニングブルー 星笛	合奏「新世界より」第4楽章 ほしとたんぽぽ	赤とんぼ 子守歌 （鑑賞）長唄「越後獅子」から	冬げしき 威風堂々	スキーの歌 （鑑賞）「ます」第4楽章	大空がむかえる朝 ほたるの光				
	鼓笛活動														
図工	音のカタチ	木工作「コリントゲーム」	木版画「亀戸百景」				紙工作「さびロボット」			リアリズム					
家庭科	見つめよう　家庭生活			ぬって楽しい生活 身の回りの布製品を見つめよう　ミシンを使って楽しく作ろう			おいしいね 毎日の食事 毎日の食事を見つめよう　ご飯とみそ汁を作ろう		物を生かして住みやすく 身の回りの物を使いやすくしよう		考えよう 買い物と暮らし 計画的に買い物をしよ				
体育	短距離走 体つくり運動	表現リズムダンス 鉄棒運動	ボール運動 心の健康	浮く・泳ぐ運動		鉄棒運動 マット運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	ハードル走 走り幅跳び 走り高跳び	ボール運動 体つくり運動	体つくり運動 跳び箱運動	ボール運動 けがの防止				
道徳	個性伸長 友情	礼儀 親切	敬けん 郷土愛・愛国心	基本的生活習慣		生命尊重 国際理解	友情 自然愛	郷土愛・愛国心 自由・自律	希望・勇気・努力 親切	家族愛 真理	勤労・社会奉仕 生命尊重	国際理解 個性伸長			
外国語活動	Lesson1 世界のいろいろな言葉であいさつ	Lesson2 ジェスチャーをつけてあいさつしよう	Lesson3 いろいろなものを数えよう			Lesson4 好きなものを伝えよう	Lesson5 友だちにインタビューしよ	Lesson6 アルファベットをさがそ	Lesson7 クイズ大会をしよう	Lesson8 夢の時間割を作ろう	Lesson9 ランチメニューを作ろう				
学校行事	入学式 1年生を迎える		運動会	臨海学園			奉仕活動（地域清掃活動）		学芸会			卒業式			

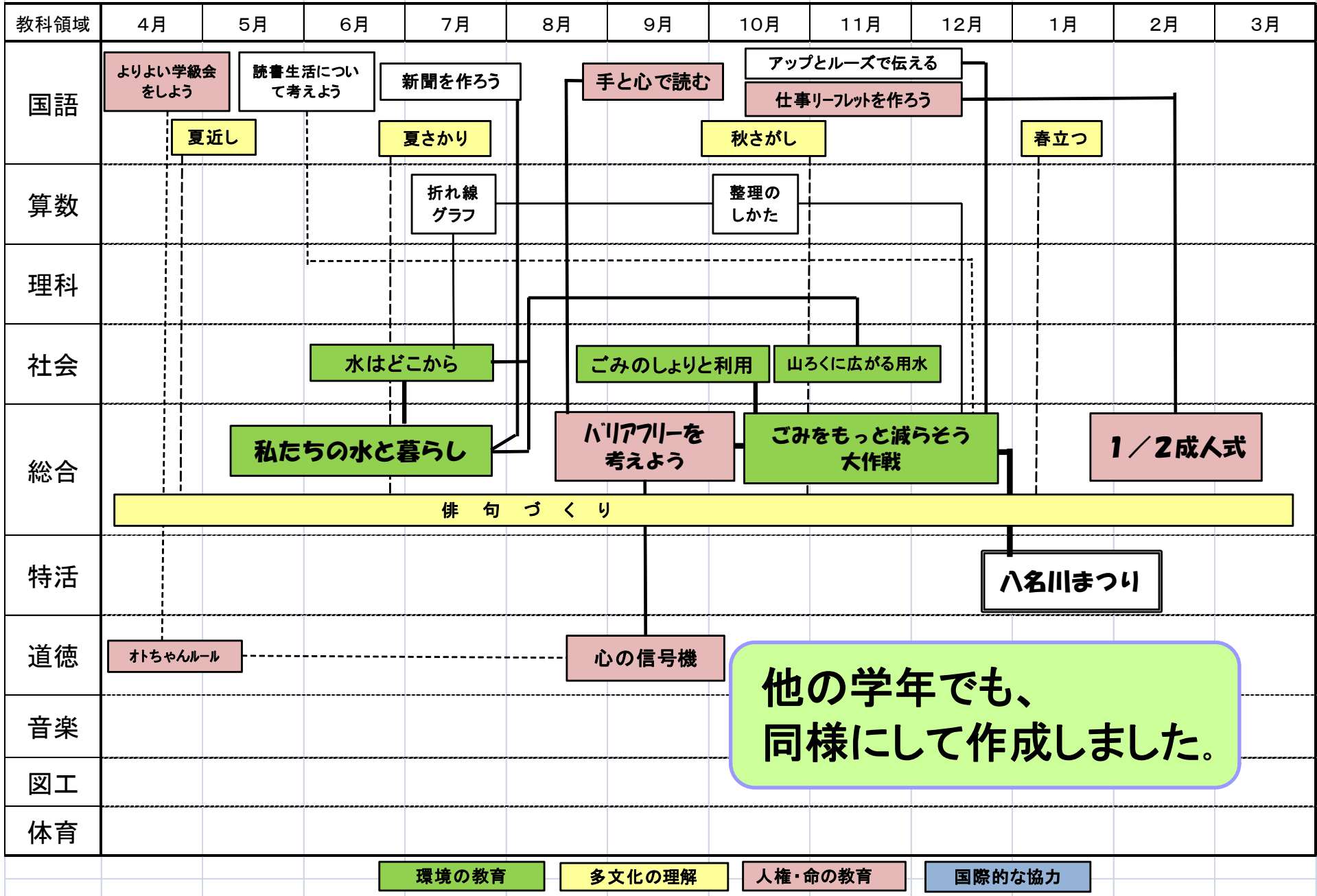
八名川小学校で平成22年度の研究冊子に
掲げているESDカレンダーです。

第6学年　ESDカレンダー

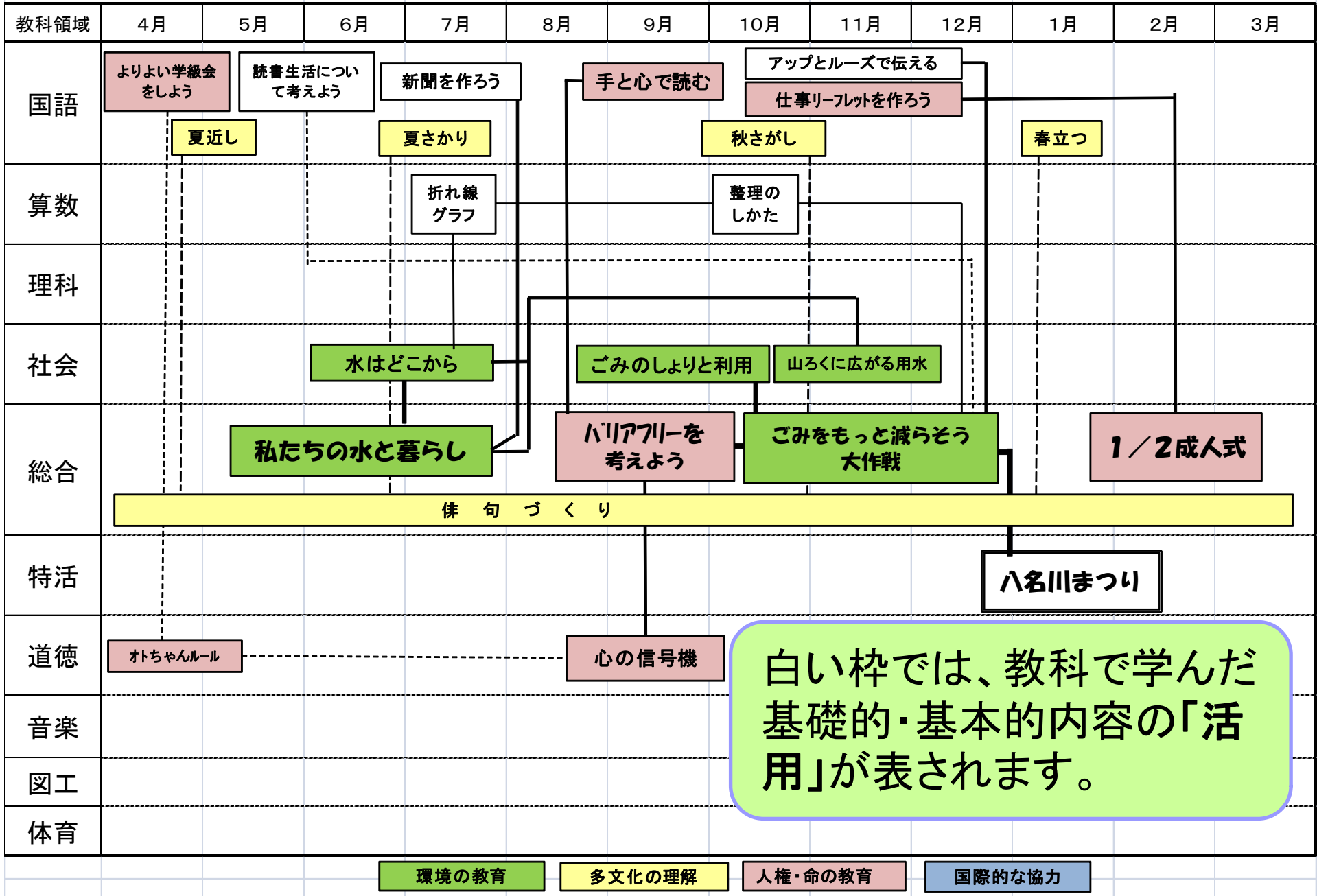


でも、本当に自分たちが考え、取り組んだ
事だけをつなぐと、このようなESDカレンダー
になるのです。これが大事なんです！
次年度の5月には、どの学年も、見事な
ESDカレンダーを創っていました。
発想の転換には実践と納得が必要なのです！

第4学年　ESDカレンダー　　江東区立八名川小学校



第4学年　ESDカレンダー　　江東区立八名川小学校

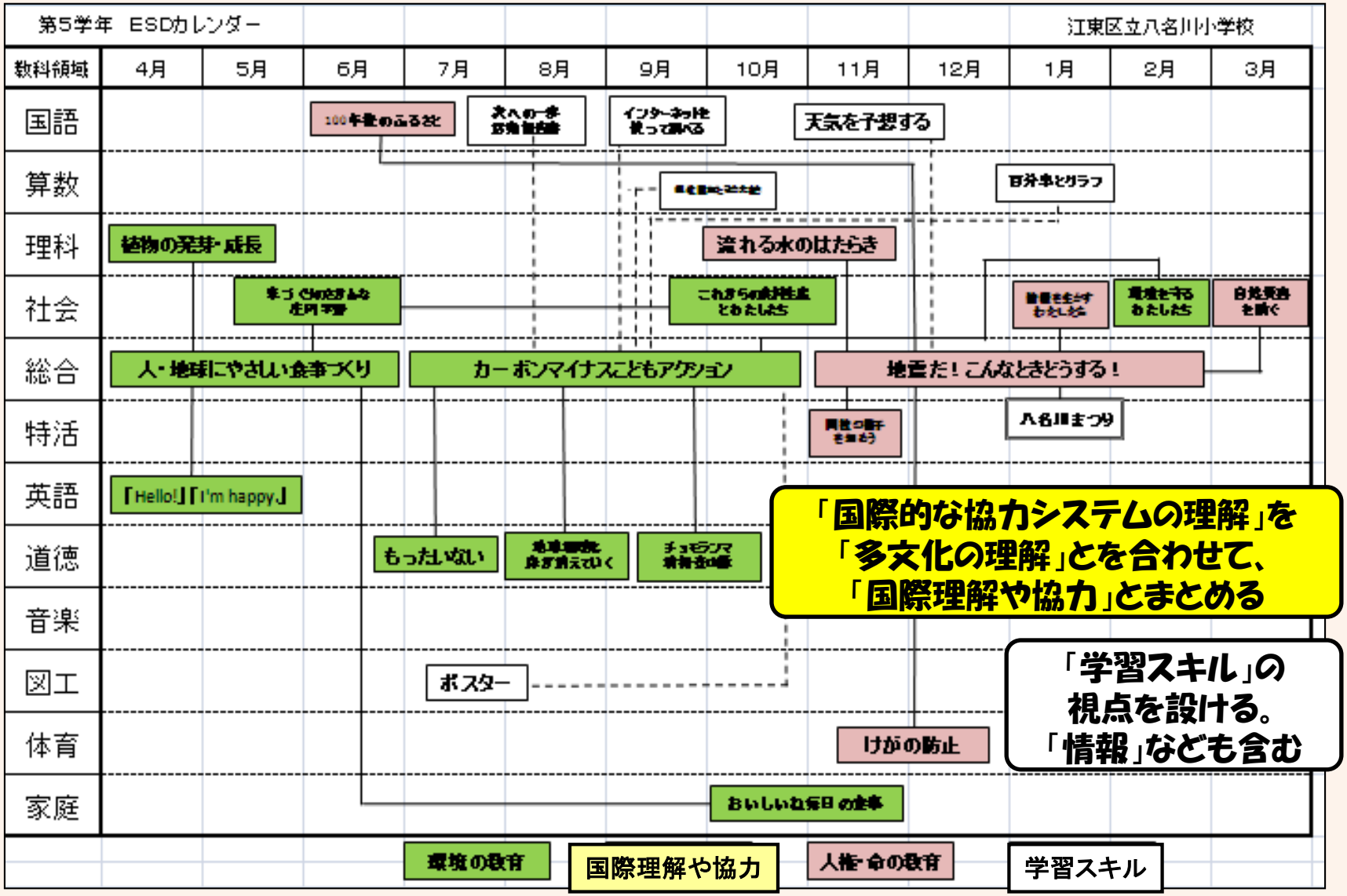


生活科や総合的な学習の時間は、教科・領域に散在している学習内容を関連づけて、つなぎ合わせる**「のりしろ」のような役割**や、**学んだ内容を活用する場**を提供する役割を果たしているように思います。

ですから、ESDを推進するには、教科・領域と関連させて、生活科や総合的な学習の時間でどのような単元を組むのかが、とても重要になります。
（行事に使ったり、補習に使ったり・・・、草刈り場にしてはだめです）

このような視点から生活科・総合的な学習の時間の構成を見直すことが重要です。

ESDカレンダーを　（生活・総合カレンダーに）進化させて、日本中に広めよう



これは、総合的な学習の時間における教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習のことである。

従来から示されていた学習活動は、「例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題、児童の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題などについて、学校の実態に応じた学習活動を行うものとする」とされていた。今回の改訂では、これに加えて、小学校では「地域の人々の暮らし、伝統や文化等地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動」、中学校では「職業や自己の将来に関する学習活動」を例示として加える。学習指導要領解説

環　境	環境の諸問題、水、ごみ、動植物や生態系、災害、エネルギー、放射能、食料生産
国際理解や協力	多文化理解、国際協力、地域の人々の暮らし、伝統や文化、異質への寛容
人権や命	福祉、健康、バリアフリー、生命、人権、災害
学習スキル	情報、表やグラフ、新聞づくり、論文・説明文の書き方、インタビューの仕方

2　地域に根ざし体験を通した学びの定着

江東区立八名川小学校

総合的な学習の時間　第５学年　指導計画

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月

人・地球に優しい食事作り10時間

［ねらい］日本や世界の食糧事情を知ったり、保護者へアンケートを行ったりする活動を通して、理想の食事を考え、人・地球にやさしい食事について、探究していく。

［学びに火をつける］
○APSD（農家・ソロモン諸島・100人の村ワークショップ）から日本や世界の食糧事情を知る。
○保護者にアンケートを行い、食事に対する意識調査を行う。
［調べる］
○「環境」「安心・安全」をキーワードに人・地球にやさしい食事がどのようなものか自分の考えた視点をもとに調べる。
［
○人
○
［つたえ合う］
○自分たちで考えた　の食事を学年の友達や保護者に　し、校内の栄養士にアドバイス　う。

カーボンマイナスこどもアクション25時間

［ねらい］
区役所温暖化
こどもアクシ
解決するた

［学びに
○区役所温
問題やカーボンマイナスこどもアクションプランという取り組みがあることを知る。
［調べる］
○カーボンマイナスに効果的な活動にどのようなものがあるか調べる。
○区役所で行うカーボンマイナスこどもアクションプランに取り組む。
［まとめる］
　　組みの様
○区役所温暖化対策課の方に発表を行ったり、アドバイスをもらったりして、　ちの活動を振り返る。
○できあがった資料を　ラフコンクールや地球にやさしい作文コンクール　出品する。

「地震だ！こんなときどうする！」（25時間）

　　大きな地震が起こ
　　とのような備え

　　校　から関東大震災の記録や首都直下大地震の想定被害を知る。
○区役所危機管理課の方のお話や保護者アンケートの結果をもとに、どのような備えが必要か考える。
［調べる］
○防災をテーマとした施設の見学を行ったり、地域の防災施設を調査したりして、自分のテーマを調べる。
［まとめる］
○見学や調査といった実体験をもとに、地震から自分や家族の身を守るためにどのような備えが必要か考えたことをまとめる。
［つたえ合う］
○八名川まつりで発表する。

学習コーディネーターとしての資質が育つ

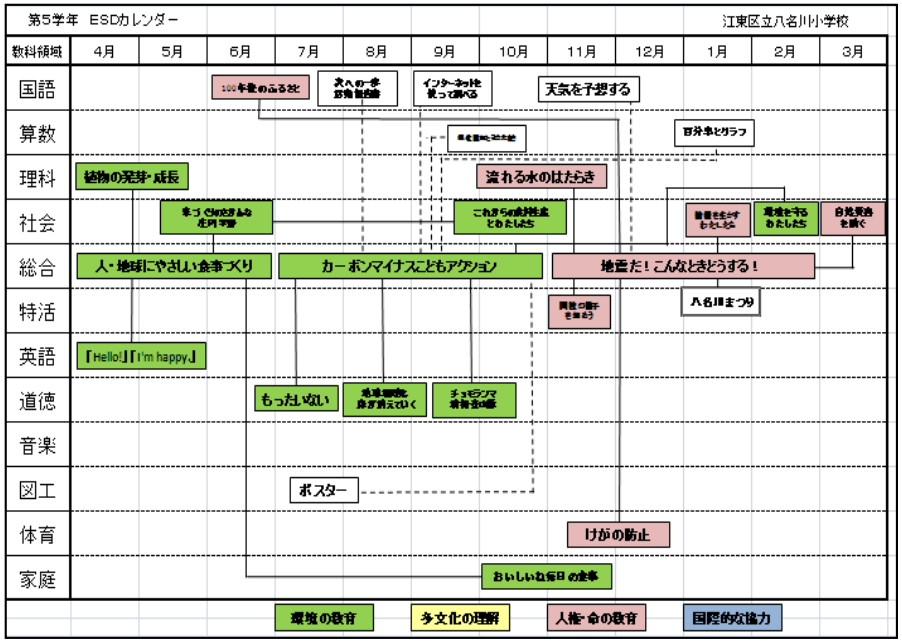
地域人材との連携

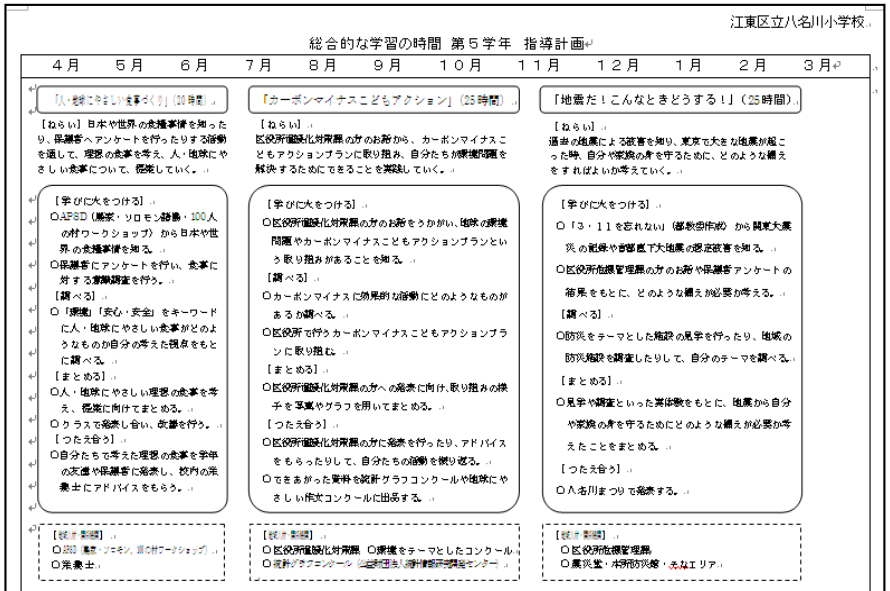
ＮＰＯ(APSD)農家の方
環境エネルギー館、東京ガス

区役所温暖化対策課、カーボンマイナス
環境ポスターコンクール、保護者

○区役所危機管理室、東京都慰霊堂
○ソナエリア（広域防災拠点）地域の方

3－①ESDカレンダーの作成と更新で




江東区立八名川小学校

総合的な学習の時間 第５学年　指導計画

４月　５月　６月　７月　８月　９月　１０月　１１月　１２月　１月　２月　３月

「人・地球にやさしい食事づくり」（20時間）

【ねらい】日本や世界の食糧事情を知ったり、保護者へアンケートを行ったりする活動を通して、理想の食事を考え、人・地球にやさしい食事について、探究していく。

【学びに火をつける】
○APSD（農家・ソロモン諸島・100人の村ワークショップ）から日本や世界の食糧事情を知る。
○保護者にアンケートを行い、食事に対する意識調査を行う。
【調べる】
○「環境」「安心・安全」をキーワードに人・地球にやさしい食事がどのようなものか自分の考えた視点をもとに調べる。
【まとめる】
○人・地球にやさしい理想の食事を考え、探究に向けてまとめる。
○クラスで発表し合い、改善を行う。
【つたえ合う】
○自分たちで考えた理想の食事を学年の友達や保護者に発表し、校内の栄養士にアドバイスをもらう。

【協力事例】
○APSD（農家・ソロモン諸島・100人の村ワークショップ）
○栄養士

「カーボンマイナスこどもアクション」（25時間）

【ねらい】
区役所環境保化対策課の方のお話から、カーボンマイナスこどもアクションプランに取り組み、自分たちが環境問題を解決するためにできることを実践していく。

【学びに火をつける】
○区役所環境保化対策課の方のお話をうかがい、地球の環境問題やカーボンマイナスこどもアクションプランという取り組みがあることを知る。
【調べる】
○カーボンマイナスに効果的な活動にどのようなものがあるか調べる。
○区役所で行うカーボンマイナスこどもアクションプランに取り組む。
【まとめる】
○区役所環境保化対策課の方への発表に向け、取り組みの様子を写真やグラフを用いてまとめる。
【つたえ合う】
○区役所環境保化対策課の方に発表を行ったり、アドバイスをもらったりして、自分たちの活動を振り返る。
○できあがった資料を統計グラフコンクールや地球にやさしい作文コンクールに出品する。

【協力事例】
○区役所環境保化対策課、○環境をテーマとしたコンクール
○統計グラフコンクール、○[illegible]

「地震だ！こんなときどうする！」（25時間）

【ねらい】
過去の地震による被害を知り、東京で大きな地震が起こった時、自分や家族の身を守るために、どのような備えをすればよいか考えていく。

【学びに火をつける】
○「３・１１を忘れない」（都教委作成）から関東大震災の記録や首都直下大地震の想定被害を知る。
○区役所危機管理課の方のお話や保護者アンケートの結果をもとに、どのような備えが必要か考える。
【調べる】
○防災をテーマとした施設の見学を行ったり、地域の防災施設を調査したりして、自分のテーマを調べる。
【まとめる】
○見学や調査といった実体験をもとに、地震から自分や家族の身を守るためにどのような備えが必要か考えたことをまとめる。
【つたえ合う】
○八名川まつりで発表する。

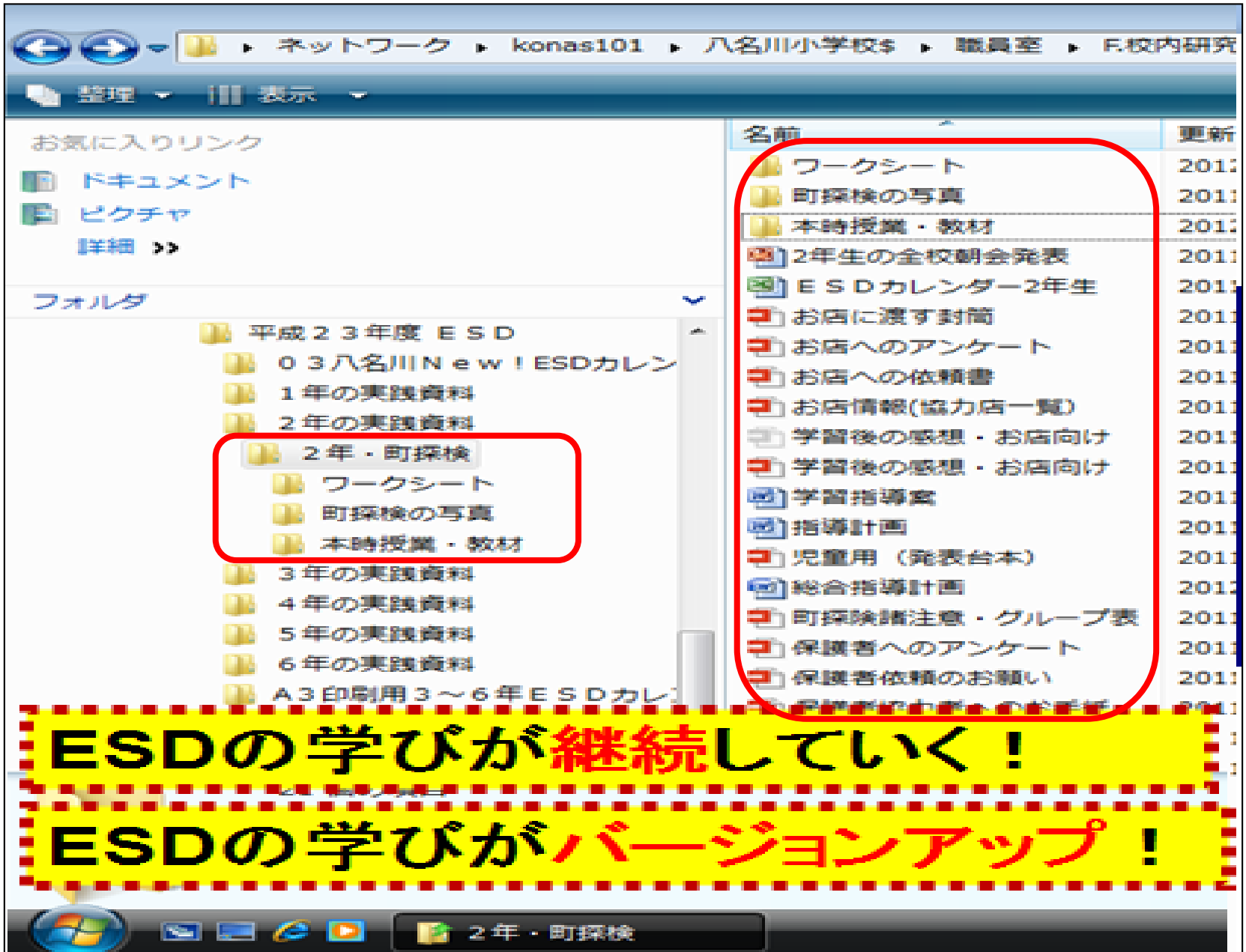
【協力事例】
○区役所危機管理課
○震災館・本所防災館・そなエリア

NEW！ESDカレンダー

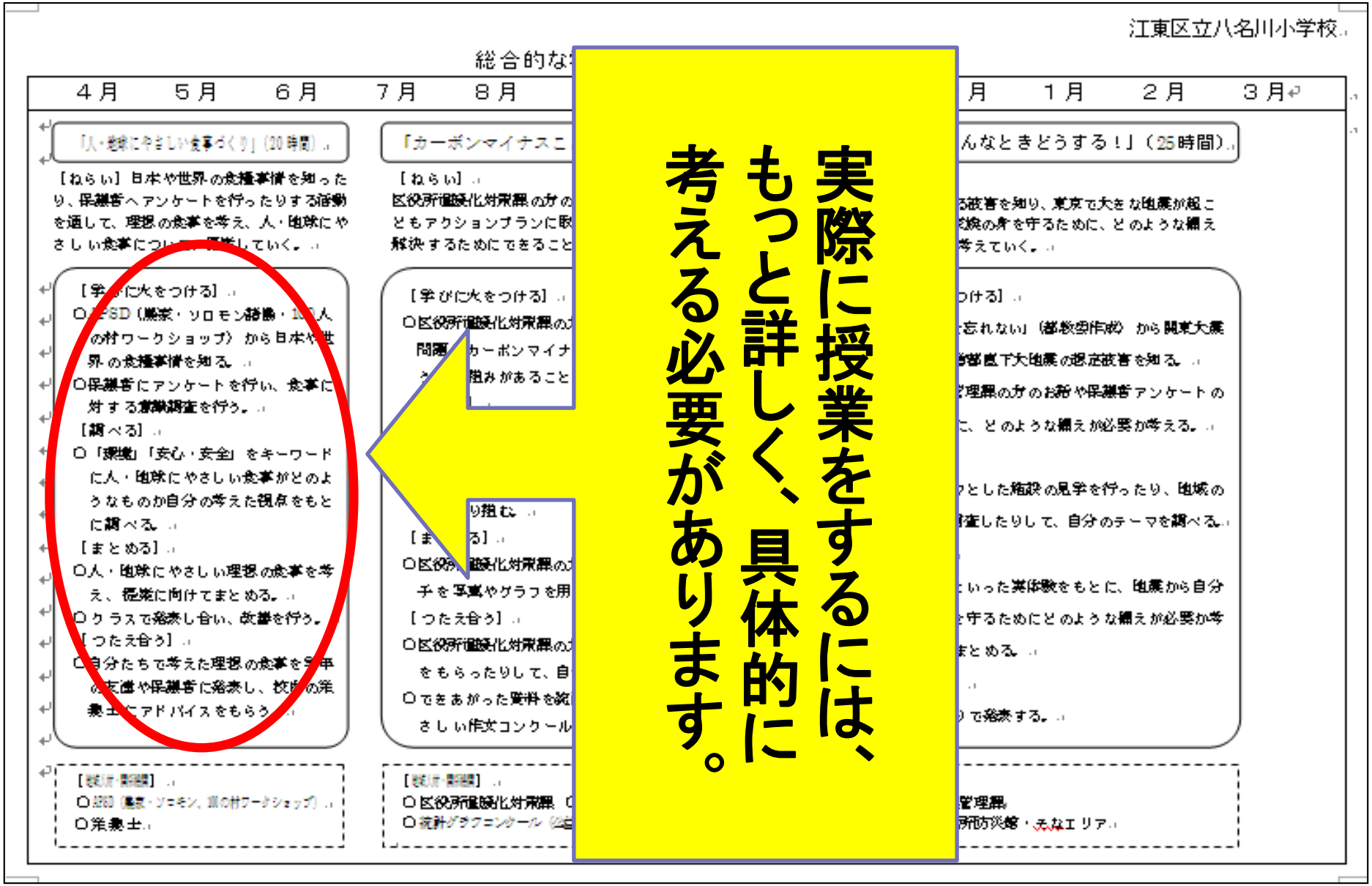
持続的な指導が可能に！

指導する内容や活動が明確に！

3－②フォルダ内に指導資料を蓄積し、活用できる



4　問題解決な学習の充実



4　問題解決な学習の充実

6. 指導計画　第6学年　総合的な学習の時間

単元名「江戸・深川の歴史を調べ、この町を知ろう」　全21時間

学びに火をつける　調べる　まとめる　つたえ合う

問題に気づかせる　計画する　まとめる・練り直す　つたえ合う・取り組む

（８時間）　（５時間）

科館に見学に行ったり、深川江戸資料館についてビデオを見てから見学に行ったりして、深川について事実認識を深める。

・小名木川の開削によって深川の土地ができた。
・明暦の大火を機に江戸の町が拡大し深川が発展した。・小名木川は中川、利根川につながり、関東一円と江戸を結ぶ重要な水上交通だった。・町の発展に伴い、商店、船宿、裏店、屋台など、下町の暮らしが豊かに展開するようになった。

② 火をつける

学習活動：興味をもったことを発表しあい、江戸前寿司に目をつけた場合を例に、調べ方についてサンプル学習を行い、調査・発表までの意欲を高め、見通しを持たせる。

【児童が興味をもった事柄】
① 深川でとれる魚と料理、江戸前の魚と四季、
② 深川の祭りと富岡八幡宮、木場角乗りと歴史、
③ 江戸の食べ物と水路　等

留意点　資料だけでなく人との出会いや関わりを大切にし、疑問力、予想力、質問力を発揮すること

テーマを決める

学習活動　自分が町をどんな視点で（切り口で）調べたいか、発表をする。「深川の町の良さ、素晴らしさという観点で町を見直す」ことを、中間発表を通して質問し、各自の主題や調査方法、見通し等を、互いに助言し合うことで深まりを持たせる。

学習活動
○調査予定を立てる。
○調べる内容が関係する者同士でグループを作る。

留意点
○五年生への発表を意識した調査・まとめ計画を立てる。

⑤ 調べる

学習活動
中間発表で出た質問や疑問等を振り返り、一層明確になった自分たちの問題を調べる。

・調べた事柄について資料を使い、分かりやすい発表を意識した準備をする。

留意点　・あらかじめ用意した資料や話す内容を順序よく話せるようにする。
・一人の課題をみんなで共有し、質問し合い、確かめ合って発展的な調査に繋げる。
・質疑応答で得た新しい疑問や考えが深まったものについてメモがとれるようにする。

・隅田川を中心に散策し、碑を調べ、歴史的な事実を知る。

留意点　隅田川に大型船が停留されていたことや、新大橋が関東大震災で多くの被災者の命を救ったことなど歴史的な事実をつかめるようにする。

・江戸時代に使われていた船や、和竿の歴史、江戸前の意味などを知る。

留意点　和船の説明を受けたり、漕ぎ方を教わったりしながら、当時の船の特徴や人々の暮らしぶりに興味がもてるようにする。

学習活動
調査した事柄について、写真や図などにまとめ、深川の良さ、素晴らしさがわかる資料づくりをして、５年生に向けて、地域の歴史について発表会をする。

T：自分が調べたことを相手にわかりやすく伝えるために、どんな工夫が必要だろうか。
C：広く調べてから、一つひとつを掘り下げてみよう。
C：グラフや写真を入れると分かりやすいな。
C：資料を見て話すだけでなく、聞いてくれる人に自分の言葉で語りかけるように話す。
C：質問や分からないことがあったら、すぐに尋ねてもらい、答えるようにする。

留意点
・調査したテーマごとのワークショップを開き、研究の成果を異学年や参観者にわかりやすく説明させる。
国語科「ようこそわたしたちの町へ」の学習を活かす。
・時代小説家の牧秀彦さんにも発表をきいてもらい、コメントをもらう。

評価　分かりやすく表現する力

⑤　江東区和船の会の協力で和船体験

学習活動
自分たちの研究発表から生まれた考えをさらに広げていくためにどのような働きかけがあるかを考える。

C：同窓会給食で同窓生に話をしよう。
C：俳句の学習に繋げていこう。

留意点
・ユネスコスクール全国大会、さかなクンの授業ともつなげ、海から環境に広げていく。

【地域との連携】
・牧秀彦氏（時代小説家）
・深川江戸資料館の解説員
・中川船番所史流感の解説員

評価　実生活に活かす力

①時代小説家 牧秀彦先生による動機づけ

②江戸前の海産物や労働者の多い町の特

4　問題解決な学習過程の重視

学びに火をつける導入の工夫

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

『ユネスコスクールとして
ＥＳＤを進めていくことの良さ』

＜児童＞

1、多様なアイデアが溢れだすクラス

2、少数の意見も大切にできるクラス

3、発信力・表現力が豊かなクラス

認め合い、信頼し合える人間関係

1　多様なアイデアが溢れだすクラス

・正答のない問題を考えるたのしさ

・勉強の苦手な子でも参加できるたのしさ

→各教科や塾の学習では味わいにくい

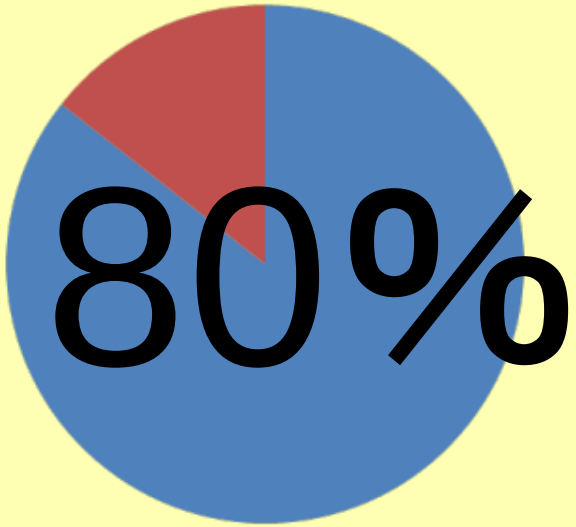
2　少数の意見を大切にできるクラス

・多数決で決めない

・少数の意見が生きる

→手立ての工夫

Q　自分や友だちの頑張ったところ（成長）を見つけることができますか？



3　発信力・表現力が豊かなクラス

6. 指導計画　第6学年　総合的な学習の時間

単元名「江戸・深川の歴史を調べ、この

学びに火をつける　**問題に気づかせる**

科館に見学に行ったり、深川江戸資料館についてビデオを見てから見学に行ったりして、深川について事実認識を深める。

・小名木川の開削によって深川の土地ができた。
・明暦の大火を機に江戸の町が拡大し深川が発展した。・小名木川は中川、利根川につながり、関東一円と江戸を結ぶ重要な水上交通だった。・町の発展に伴い、商店、船宿、裏店、屋台など、下町の暮らしが豊かに展開するようになった。

火をつける

②

学習活動：興味をもったことを発表しあい、江戸前寿司に目をつけた場合を例に、調べ方についてサンプル学習を行い、調査・発表までの意欲を高め、見通しを持たせる。

【児童が興味をもった事柄】
① 深川でとれる魚と料理、江戸前の魚と四季、
② 深川の祭りと富岡八幡宮、木場角乗りと歴史、
③ 江戸の食べ物と水路　等

留意点　資料だけでなく人との出会いや関わりを大切にし、疑問力、予想力、質問力を発揮すること

テーマを決める

学習活動　自分が町をどんな視点で（切り口で）調べたいか、発表をする。「深川の町の良さ、素晴らしさという観点で町を見直す」ことを、中間発表を通して質問し、各自の主題や調査方法、見通し等を、互いに助言し合うことで深まりを持たせる。

調べる　**計画する**

（８時間）

学習活動
○調査予定を立てる。
○調べる内容が関係する者同士でグループを作る。

留意点
○五年生への発表を意識した調査・まとめ計画を立てる。

⑤

調べる

学習活動
中間発表で出た質問や疑問等を振り返り、一層明確になった自分たちの問題を調べる。

・調べた事柄について資料を使い、分かりやすい発表を意識した準備をする。

留意点　・あらかじめ用意した資料や話す内容を順序よく話せるようにする。
・一人の課題をみんなで共有し、質問し合い、確かめ合って発展的な調査に繋げる。
・質疑応答で得た新しい疑問や考えが深まったものについてメモがとれるようにする。

・隅田川を中心に散策し、碑を調べ、歴史的な事実を知る。

留意点　隅田川に大型船が停留されていたことや、新大橋が関東大震災で多くの被災者の命を救ったことなど歴史的な事実をつかめるようにする。

・江戸時代に使われていた船や、和竿の歴史、江戸前の意味などを知る。

留意点　和船の説明を受けたり、漕ぎ方を教わったりしながら、当時の船の特徴や人々の暮らしぶりに興味がもてるようにする。

まとめる　**まとめる・練り直す**

（６時間）

学習活動
調査した事柄について、写真や図などにまとめ、深川の良さ、素晴らしさがわかる資料づくりをして、５年生に向けて、地域の歴史について発表会をする。

T：自分が調べたことを相手にわかりやすく伝えるために、どんな工夫が必要だろうか。
C：広く調べてから、一つひとつを掘り下げてみよう。
C：グラフや写真を入れると分かりやすいな。
C：資料を見て話すだけでなく、聞いてくれる人に自分の言葉で語りかけるように話す。
C：質問や分からないことがあったら、すぐに尋ねてもらい、答えるようにする。

留意点
・調査したテーマごとのワークショップを開き、研究の成果を異学年や参観者にわかりやすく説明させる。
国語科「ようこそわたしたちの町へ」の学習を活かす。
・時代小説家の牧秀彦さんにも発表をきいてもらい、コメントをもらう。

評価　分かりやすく表現する力

⑤　江東区和船の会の協力で和船体験

つたえ合う　**つたえ合う・取り組む**

学習活動
自分たちの研究発表から生まれた考えをさらに広げていくためにどのような働きかけがあるかを考える。

C：同窓会給食で同窓生に話をしよう。
C：俳句の学習に繋げていこう。

留意点
・ユネスコスクール全国大会、さかなクンの授業ともつなげ、海から環境に広げていく。

【地域との連携】
・牧秀彦氏（時代小説家）
・深川江戸資料館の解説員
・中川船番所史流感の解説員

評価　実生活に活かす力

①時代小説家 牧秀彦先生による動機づけ

②江戸前の海産物や労働者の多い町の特

3　発信力・表現力が豊かなクラス

１年「秋のたからもの」

２年「動くおもちゃ屋さん」

３年「地震やしき」

八名川まつり　発信力・表現力の育成

４年「やさしいまち」

５年「いざ！地震だどうする」

６年「未来にはばたけ」

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

『ユネスコスクールとして
ＥＳＤを進めていくことの良さ』

＜保護者・地域＞

1、授業に対する見方が変わった

→研究授業
ユネスコスクール実践交流会
学習発表会（八名川まつり）
ＰＴＡだより

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

平成25年度の校内研究会日程

皆様との連携のためにも公開や発信に取り組みます

本年度も校内研究会は公開しております。ご参観の際は、児童の個人情報にご配慮ください。各会とも、目白大学人間学部長の多田孝志先生にご指導いただいております。

● 各学年の研究授業日としては、次の6回です。いずれも、午後1時30分から開始予定です。

① 6月26日（水）（2 学年） ② 7 月9日（火）（1 学年） ③ 9月13日（金）（4 学年）
④ 10 月10 日（木）（3 学年） ⑤ 11 月12 日（火）（対話スキルの研修会）
⑥ 11 月26 日（火）（5 学年） ⑦ 12 月10 日（火）（6 学年）午前です。

● 25年度も、**ESDパワーアップ交流会**をしましょう！

平成26年2月8日（土）・・・午前中に通常の学校公開を行い、午後には、ESDパワーアップ交流会を開催したいと思います。詳しいことは11月頃にユネスコスクール公式HP等を通じてお知らせいたします。

各回とも全国から現場の先生方、大学の先生方、関係機関の皆様方が大勢参加してくださいました。皆様と交流しつつ研究ができることに、心より感謝しております。

ご来校の際には、前もってご連絡ください。八名川小学校副校長濵方弥生

電話03－3631－2260

左記の研究授業の他にも様々なゲストティーチャーをお招きしての授業もあります。現在、カシオ計算機の若尾さんの命に関連した授業が、4 月23 日（6 年、生きている私たち）、5 月16 日（5 年環境）、9 月19日（5 年、東日本大震災）、11 月7 日（6 年世界の中の日本、幸せとは何か）の4 回、いずれも3～6校時に予定されています。この他にも、9月には時代小説家牧秀彦先生の6 年地域学習や、NPO法人APSD（環境・ソロモン）、町づくり推進課等々が入ります。10月31日には世界酪農会議（横浜）に集まった方々が、八名川小に来校され、4年生から日本の学校給食についてプレゼンを受け、交流を深める予定です。

● **次の八名川まつりは平成26年1月24日（金）の午前9時から11時30分の**予定です

イズを出して
らないの？」
！」

ら
ナ

戸資料館に
し合い意見
い発表の仕

ゼンテーショ
るかな。

ユネスコスクール

体育館で江戸の雰囲気を演出♪ みんなで協力してプレゼン

ユネスコスクールには**4つのテーマ**があります（※右上参照）。

それに取り組むためには、単に国語や社会などの「一つ一つの教科」を学ぶだけでなく、それぞれの教科の学びをつなぎ、その関連性を重視した**「教科横断的」な授業が大切**になるそうです。もともと「総合的な学習の時間」は教科横断的な学習ですが、これを**ユネスコの視点でさらに深めた内容**にしていました。

授業内容 江戸の「くらし」「流通」「身分制度」など

子どもたちは自分たちが住む地域の歴史を探ることで、**「過去と現在」のつながりを知り、「未来をどうするか」**を考えました。また、江戸のくらし方から**エコ**を学び、身分制度から**人権の問題**にも思いを巡らせていました。

授業を担当した6年生の先生方にお話を伺いました

地域の歴史を自ら調べる活動を通して、地域に対し、より愛着をもつことができました。また、たくさんの意見を出し合って効果的に発表できたことも収穫です。

6-1 稲嶺（いなみね） 史（ひとし） 先生

子どもたちの行動力には驚かされました。歴史を守りながら友達や地域の人々と関わり合い、この町とともに生きていく大切さを実感できたと思います。

6-2 村中（むらなか） 裕佳（ゆか） 先生

が豊かに！

スコの考えを活かした内容になりました。

※写真はすべて昨年度のものです

アフリーを考えよう』

の生活について学び　、
体験するコーナーを作成。

保護者がサポートできることは？

研究会の見学もできます！

ユネスコスクールになって、**「世界の中のわが町・八名川」**について調べる機会が増えています。子どもたちが協同で学び合い、地域のことを知ろうとする授業を見て、保護者同士も**お互いに信頼し合っていくこと、地域の一員として誇りをもち、学校や地域の活動をしていくこと**が大切なサポートだと実感。そして、「ユネスコ」や「世界」は遠くにあるのではなく、世界の中に八名川があって、**子どもたち一人ひとりと世界はつながっている**という視点をもつことが大切だと思いました。

☆　今後行われる予定の授業研究会など

- 10月31日（水）　3年授業研究会
- 11月12日（月）　1年授業研究会
- 12月18日（火）　2年授業研究会
- 1月22日（火）　全校　八名川まつり
- 2月27日（水）　全学年　実践報告会

平成２６年１月吉日

各教育委員会教育長様
各　校　園　長　様
関　　係　　各　　位

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

江東区立八名川小学校
校長　手島利夫

ユネスコスクール　第２回 ＥＳＤパワーアップ交流会のご案内

江東区教育委員会 特色ある学校づくり支援事業

後援：日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、教育新聞社、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

集まろう！つながろう！ユネスコスクール

【日時】平成 26 年 2 月 8 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分

【内容】 **事例発表・講演　（午前中は一般的な学校公開日ですので授業の参観も可能）**

受付開始	開会挨拶 主旨説明	八名川小と各校からの事例発表・交流 （ブース形式による発表）	日本ユネスコ国内委員会及び江東区教育委員会挨拶	講演 「次世代の教育を考える」 目白大学　人間学部長 多　田　孝　志　先生

13:00　13:30　13:40　15:10　15:30　16:30

※　講演会の終了後に１階の図書室で、元祖カレーパン等を用意して、立ち席でのお茶会を予定しております。こちらも交流の場としてご活用ください。

【講演】

「次世代の教育を考える」　目白大学人間学部長　多 田 孝 志 先生

いろいろな学校の実践事例が手に入る！
ユネスコスクール関係者と知り合える！
自分の実践が発表でき、意見をもらえる！
中学も高校も大学の方もどなたでもどうぞ！

都営新宿線・大江戸線　森下駅下車（A3出口）徒歩5分

【会場・申し込み】

江東区立八名川小学校

『ユネスコスクールとして
ＥＳＤを進めていくことの良さ』

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

＜保護者・地域＞

・授業に対する見方が変わった

→研究授業・全校保護者会での説明
ユネスコスクール実践交流会
学習発表会（八名川まつり）
ＰＴＡだより

・学校が信頼できるようになり、協力しなくては・・と思えるようになる。

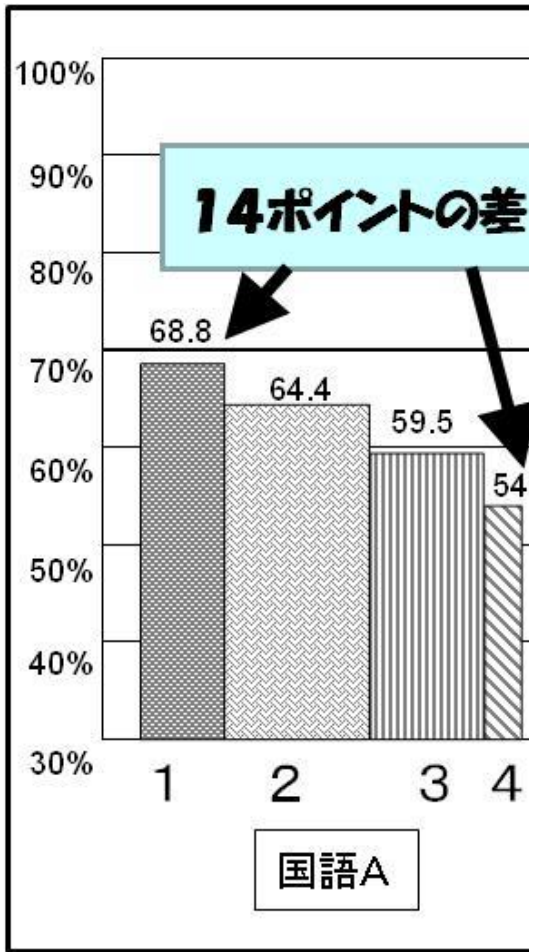
参観から参画へ

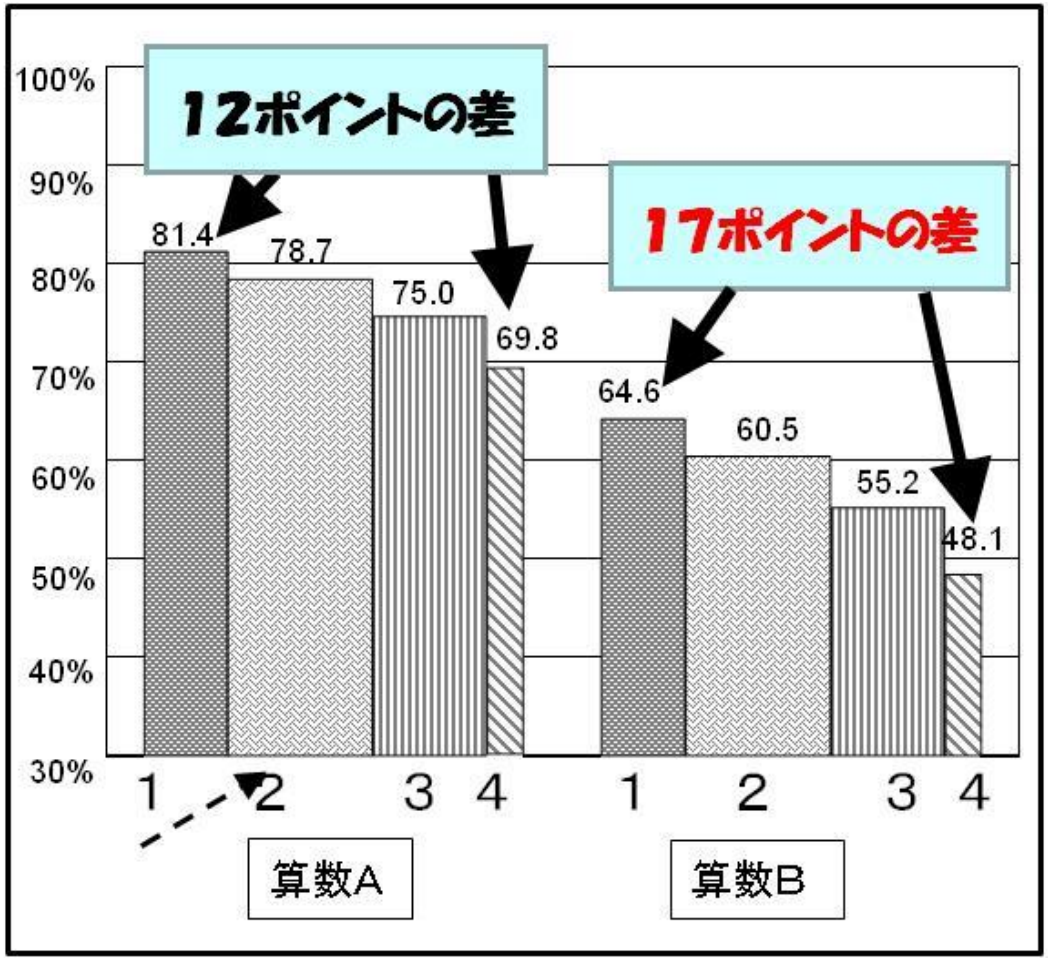
総合的な学習の時間と学力との相関

H25全国学力・学習状況調査（小学校6年生）

「「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の回答と平均正答率のクロス集計

＊「1　当てはまる」「2　どちらかといえば、当てはまる」
「3　どちらかといえば、当てはまらない」「4　当てはまらない」



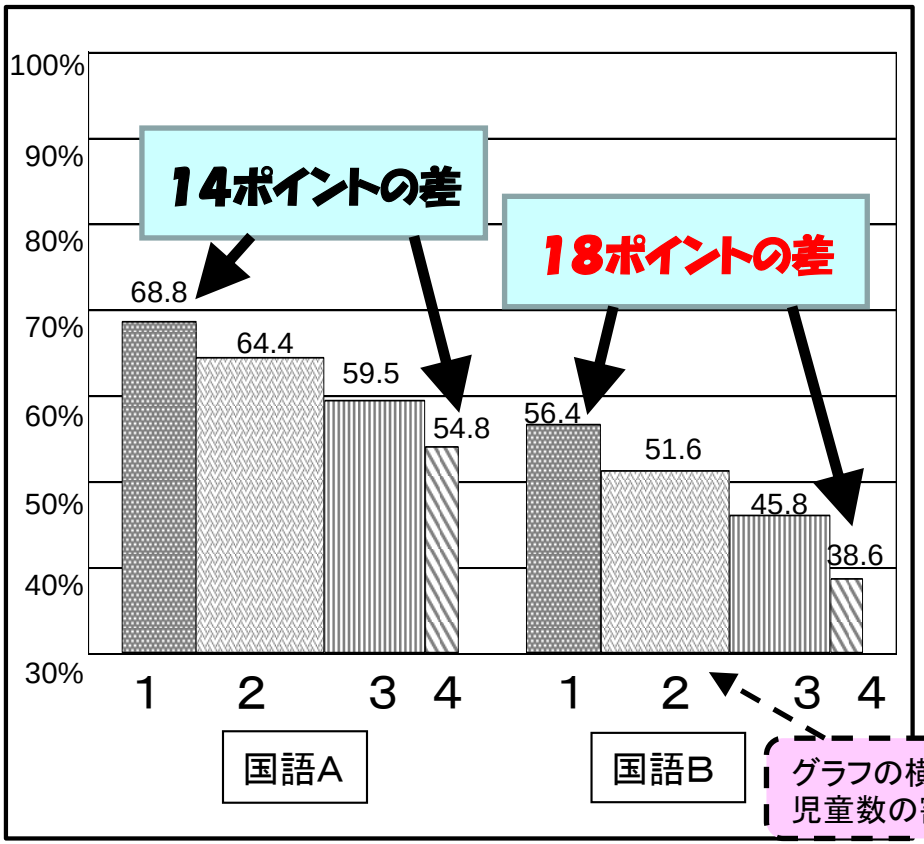


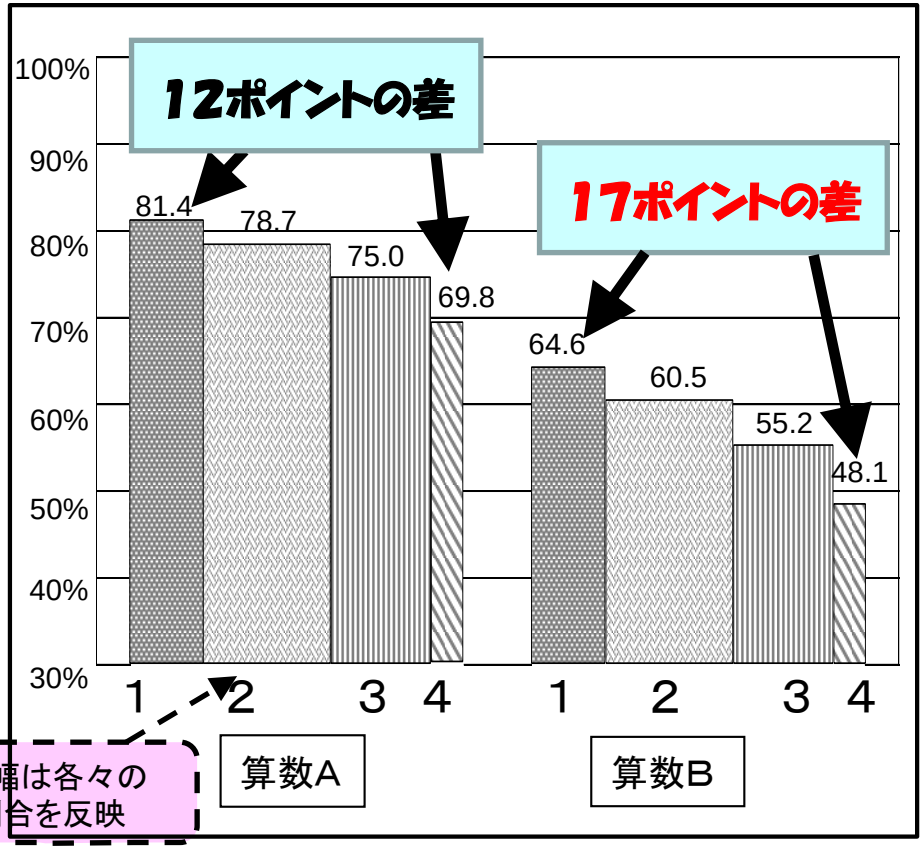
総合的な学習の時間と学力との相関

H25全国学力・学習状況調査（小学校6年生）

「「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の回答と平均正答率のクロス集計

＊「1　当てはまる」「2　どちらかといえば、当てはまる」
「3　どちらかといえば、当てはまらない」「4　当てはまらない」





グラフの横幅は各々の児童数の割合を反映

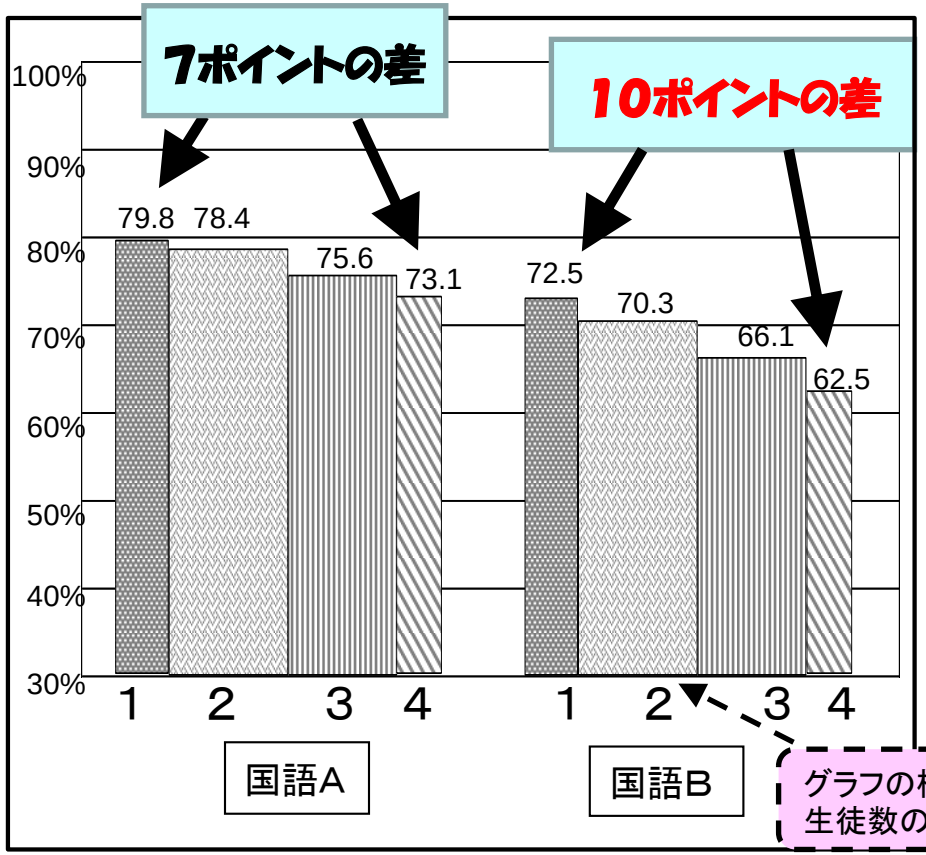
総合的な学習の時間と学力との相関

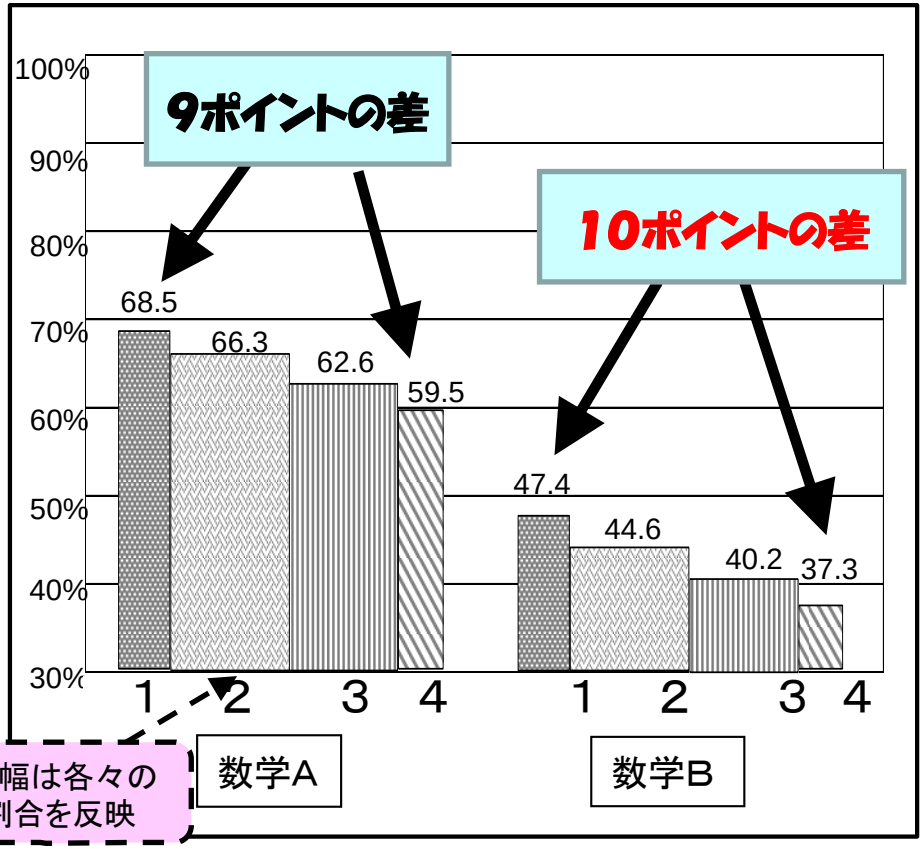
H25全国学力・学習状況調査（中学校3年生）

「「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の回答と平均正答率のクロス集計

＊「1　当てはまる」「2　どちらかといえば、当てはまる」
「3　どちらかといえば、当てはまらない」「4　当てはまらない」

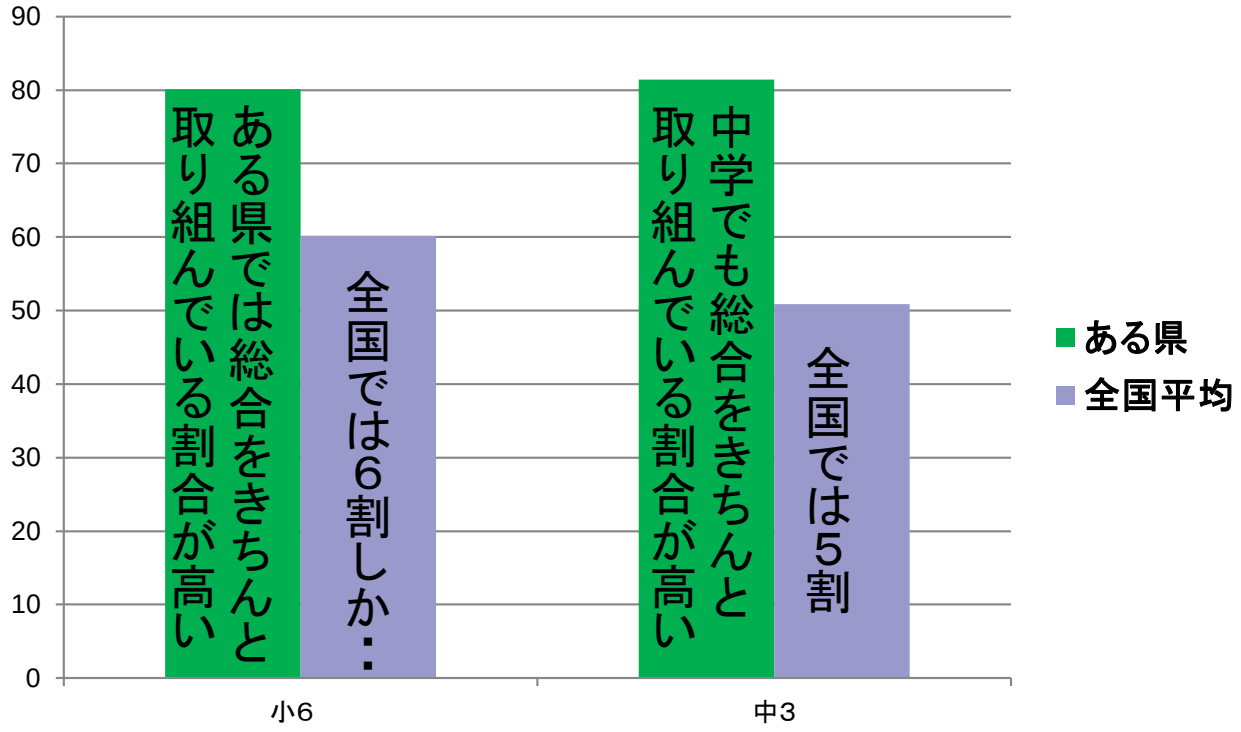
「総合的な学習の時間」の趣旨に即した活動に取り組んでいる生徒ほど、平均正答率（特にＢ問題）が高い。





グラフの横幅は各々の生徒数の割合を反映

自分たちの学校では「総合」の授業をきちんとやっていると思っている児童生徒の割合は、
全国平均とある県ではこんなにちがっているんですよ。
その県の学力が高いのは、総合で自ら問題意識を持って学ぶ子どもを育てているからではありませんか。
それでも、まだ詰め込み教育で追いつこうと言うのでしょうか。



日本から発信するＥＳＤの成果

- 日本ではESDが、15年も前から総合的な学習の時間として、学習指導要領に位置づけられ、全国の全ての学校で取り組まれてきた。（日本の総合的な学習の時間は、ESDのメインフィールドであり、小学校3年生から高校3年生まで、教育課程上に必修の時間として明確に位置づけられている。）
- ESDは、地域に根ざして展開されるため、学校を中心として、保護者や地域との新たな関係や参加を生み出す環境をつくり、参観から参画へ、そして人のつながりへと拡がりをつくっている。
- ESDを推進する中で、暗記・再生型で一斉画一的な授業から、探究的で協同的な授業へと、教師の指導観を変化させてきた。教師が学習のコーディネーターとして変容・成長しつつある。
- ESDの実践を進める中で、子どもたちが、互いの意見を聞き合い、尊重し合い、学び合う温かな関係が育っている。

日本から発信するＥＳＤの課題

・ユネスコスクールがESDの取り組みで開発した、ESDカレンダー等の手法や、様々な実践事例によって、国内の生活科や総合的な学習の時間を一層活性化させることが可能になった。これらの手法や事例を世界中に発信していくことが課題である。

・全国各地に展開している647校のユネスコスクールが、ESDの視点を活かしながら、各地の教育活性化を推進する拠点として一層機能を強化していくこと。

・日本の教師は大勢の子どもたちを一斉に方向づけ、一定の知識や理解を効率よく教える面において、非常に優秀である。しかし、子どもたち自身に疑問を持たせ、探究的・問題解決的な学習に取り組ませる指導力は不足している。

　このような問題意識を広め、指導法の工夫・改善を図っていくことが、ESDを推進する日本の教師に求められる重要な課題である。

ESDという視点を踏まえた教育が、ユネスコスクール以外の場所でこのように取り上げていただけたのは、おそらく、今回が初めてのことと思います。皆様との出会いに感謝しております。

学校における実践の様子につきましては、この後の、ポスターセッションで低・中・高学年、それぞれ5分くらいずつの紹介をいたします。
また、本日のプレゼンを入れたCDや本年度の研究集録を用意しましたのでお持ちください。

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

江東区立八名川小学校
手島　利夫
E-mail:　t-tejima@koto-edu.jp
電話:　　03－3633－5428